

令和6年度

福岡県立美術館年報

目 次

沿革	1
展覧会事業一覧	4
月別入館者数一覧	5
展覧会事業	
1 常設展	6
2 企画展	18
3 共催展	28
貸館事業	36
普及事業	40
スクール・ミュージアム事業（アートコース）	42
収集事業	44
博物館実習	49
美術作品の貸出	50
どこでもケンビ（バーチャル美術館事業）	52
組織図・名簿	53
主要各室概要	54
建築概要	56
設備概要	57
年度別入館者状況	58
企画展の開催状況一覧	59
共催展（実行委員会方式）の開催状況一覧	60
福岡県美術展覧会（県展）の開催状況一覧	62
県展巡回展の開催状況一覧	63
主要貸館展の開催状況一覧	64
美術館利用案内	65

沿 革

昭和 29 年 3 月	福岡文化センター建設期成連盟（会長・荒川文六）を結成
昭和 35 年 9 月 10 日	福岡県と福岡市の間で、須崎公園の一角に文化センターを建設する話合いが進められ、知事と市長が覚書を交換。市が市民会館を、県が図書館と美術館を建設することを決定
昭和 38 年 2 月	県は図書館に美術館を併置した文化会館を建設することとし工費 34,056 万円をもって 2 月 15 日着工、翌 39 年 8 月 15 日落成
昭和 39 年 11 月 3 日	文化会館が中央区天神 5 丁目に開館、鉄筋コンクリート 4 階建て、書庫地下 1 階、地上 7 階、延べ 7,205 m ²
昭和 54 年 12 月	文化会館が図書資料の増大等により手狭になったため、新しく県立図書館を建設するための基本設計費が 12 月県議会において議決
昭和 55 年 8 月 8 日	福岡県文化会館を美術専門の施設として活用することについて、福岡県文化会館改築検討委員会発足
昭和 57 年 6 月 2 日	福岡県文化会館改築検討委員会から「福岡県文化会館の基本構想－新しい出発に際して－」提案
昭和 58 年 6 月	福岡県文化会館改築設計費が 6 月県議会にて議決
昭和 59 年 3 月	福岡県文化会館改築工事費が 3 月県議会にて議決
昭和 59 年 7 月 1 日	改築工事のため福岡市早良区百道に県文化会館美術部仮事務所設置
昭和 59 年 7 月 6 日	美術館部門は、総工費約 14 億円を持って全面改築工事起工
昭和 60 年 3 月 31 日	『尾形家絵画資料目録』を発行
昭和 60 年 7 月 30 日	「福岡県立美術館組織規則」（教育委員会規則第 8 号）制定 「福岡県立美術館協議会規則」（教育委員会規則第 9 号）制定
昭和 60 年 7 月 31 日	県立美術館改築工事竣工
昭和 60 年 8 月 1 日	「福岡県公の施設の設置及び管理に関する条例」を一部改正し、県立美術館及び美術館協議会を設置
昭和 60 年 10 月 22 日	「福岡県立美術館の利用等に関する規則」（教育委員会規則第 11 号）制定
昭和 60 年 11 月 2 日	「福岡県立美術館使用料条例施行規則」（県規則第 62 号）改正
昭和 60 年 11 月 3 日	県立美術館開館
昭和 60 年 11 月 3 日	開館記念特別展「現代美術の展望'85 FUKUOKA変貌するイマジネーション」開催
昭和 60 年 11 月 3 日	館ニュース「とっぷらいと」創刊号を発行
昭和 60 年 12 月 24 日	博物館法第 10 条により博物館登録原簿に登録
昭和 61 年 3 月 31 日	『尾形家絵画資料図版』を発行
昭和 61 年 11 月 13 日	日本博物館協議会全国大会を幹事県として開催
昭和 62 年 7 月 2 日	実行委員会方式による第 1 回展として「第 42 回春の院展」を開催
平成 2 年 3 月 30 日	「福岡県立美術館美術品取得基金条例」（条例第 15 号）制定
平成 2 年 7 月 23 日	「福岡県立美術館美術品取得基金管理規則」（県規則第 35 号）制定
平成 2 年 10 月 6 日	とびうめ国体記念展として「ホノルル美術館所蔵品によるヨーロッパ・アメリカの版画展」及び「福岡県現代の工芸秀作展」を開催
平成 3 年 3 月 6 日	第 1 回福岡・佐賀・長崎三県合同企画展「西洋絵画への挑戦」を開催
平成 3 年 7 月 30 日	アジア・ジュニア美術展福岡'91（第 1 回）を開催
平成 3 年 7 月 31 日	県立美術館外壁工事終了
平成 4 年 3 月 5 日	第 2 回福岡・佐賀・長崎三県合同企画展「西國工藝博覧會」を開催
平成 4 年 4 月 1 日	「福岡県立美術館使用料条例」（条例第 27 号）改正し、展示室の観覧料、展示室の使用料及び視聴覚室の使用料を改定
平成 4 年 6 月 29 日	「美術館連絡協議会」に新規加盟
平成 4 年 10 月 3 日	ハイビジョン静止画システムを導入し、ハイビジョンギャラリーを開設
平成 4 年 10 月 20 日	九州博物館協議会第 22 回学芸員・事務職員研修会を幹事県として開催
平成 5 年 2 月 11 日	第 3 回福岡・佐賀・長崎三県合同企画展「黄檗禅の美術」を開催
平成 5 年 8 月 3 日	アジア・ジュニア美術展福岡'93（第 2 回）を開催
平成 5 年 10 月 7 日	西瀬戸 7 県合同企画展「西瀬戸近代美術展」開催

平成 5 年 10 月 9 日	国立アジア文明博物館の誘致実現に向けた、日中韓合同企画「アジア文明交流展」（主催：アジア文明交流展実行委員会）を開催
平成 5 年 11 月 8 日	美術図書室に児童生徒用の図書コーナー設置
平成 6 年 9 月 6 日	第 50 回県展開催
平成 6 年 9 月 17 日	第 50 回福岡県美術展覧会記念講演会
平成 6 年 11 月 20 日	大内田茂士遺作収蔵庫設置
平成 7 年 3 月 31 日	『大内田茂士遺作受贈目録』を発行
平成 7 年 7 月 21 日	アジア・ジュニア美術展福岡'95（第 3 回）を開催
平成 7 年 9 月 15 日	『福岡県立美術館所蔵名作 50 選』を発行
平成 7 年 9 月 17 日	福岡県立美術館開館 10 周年記念巡回展「移動美術館－郷土美術のパイオニアたち」を開催
平成 7 年 11 月 11 日	福岡県立美術館開館 10 周年記念展「郷土美術名鑑－美のパイオニアたち」を開催
平成 8 年 3 月 31 日	『福岡県立美術館所蔵品目録』を発行
平成 9 年 4 月 1 日	「福岡県立美術館使用料条例」（条例第 59 号）改正し、展示室の観覧料、展示室の使用料及び視聴覚室の使用料を改定
平成 9 年 10 月 9 日	九州北部三県文化交流展 生誕 100 年記念「中村琢二展」開催
平成 11 年 3 月 18 日	『福岡県展史 1940－1994』を発行
平成 14 年 4 月 1 日	「福岡県立美術館使用料条例施行規則」（福岡県規則第 6 号）を改正し、展示室の観覧料の高校生以下について全土曜日を無料に改正
平成 15 年 8 月 4 日	国の緊急地域雇用創出特別基金事業に基づく「福岡県立美術館所蔵品デジタル化・巡回展示会事業」に着手
平成 17 年 3 月 20 日	福岡県西方沖地震により、施設設備及び美術品の一部損壊
平成 17 年 11 月 12 日	第 18 回全国健康福祉祭ふくおか大会ねりんピックふくおか 2005 美術展開催
平成 17 年 11 月 12 日	常陸宮・常陸宮妃両殿下美術展開会式御臨席
平成 19 年 3 月 23 日	～ 平成 20 年 8 月 28 日
	福岡県立美術館将来構想検討委員会開催（第 1 回～第 5 回）
平成 19 年 9 月～12 月	財団法人 地域創造の助成により平成 19 年度公立美術館活性化事業「北部福岡アート・トライアングル」を県立美術館、春日市ふれあいセンター、甘木歴史資料館で実施
平成 20 年 8 月	福岡県立美術館将来構想検討委員会の報告「新しい福岡県立美術館のあり方について」公表
平成 21 年度	福岡県教職員互助会との共催により、スクール・アートバス事業開始
平成 23 年度	福岡市のミュージアム 3 館（福岡市博物館、福岡市美術館、福岡アジア美術館）が連携して開催してきた「福岡ミュージアムウィーク」に新たに参加
平成 23 年 9 月	県立美術館入館者 500 万人達成
平成 24 年度	福岡県教職員互助会、福岡県青少年科学館との共催により、スクール・アートバス事業の後継事業としてアート・サイエンスの 2 つのコースを設けたスクール・ミュージアムバス事業開始
平成 24 年 4 月 1 日	博物館法等改正に伴い、「福岡県公の施設の設置及び管理に関する条例」及び「福岡県立美術館協議会規則」を改正し、協議会委員の任命基準等を追加
平成 25 年度	スクール・ミュージアムバス事業をスクール・ミュージアム事業に改称
平成 25 年度	福岡市内のミュージアムが連携して情報発信活動を行う「ふくおかミュージアム連絡会議」に参加
平成 26 年 1 月 5 日	建物の耐震基準をクリアするため、耐震工事を実施するとともに臨時休館（～8 月 31 日）
平成 26 年 4 月 1 日	「福岡県立美術館使用料条例」（条例第 7 号）改正し、展示室の使用料及び視聴覚室の使用料を改定
平成 26 年 10 月 4 日	福岡県文化会館建設 50 年記念「とっとと？ きおく×キロク＝」展開催
平成 26 年 11 月 29 日	～ 平成 28 年 5 月 8 日
	福岡県立美術館開館 30 周年記念 コレクション展連続企画 2014-15 開催（第 1 弾～第 4 弾）
平成 27 年 11 月 15 日	～ 平成 29 年 3 月 5 日
	福岡県立美術館基本構想検討委員会開催（第 1 回～第 5 回）

平成 27 年 12 月 4 日	福岡県立美術館開館 30 周年記念「没後 40 年 高島野十郎展」開催
平成 28 年 2 月 15 日	空調設備改修工事のため臨時休館（～3 月 28 日）
平成 28 年 3 月	『福岡県立美術館コレクション・アルバム 1964-2014』を発行
平成 29 年 3 月	福岡県立美術館基本構想検討委員会報告
令和 元年 10 月 1 日	「福岡県立美術館使用料条例」（条例第 7 号）改正し、展示室の使用料及び視聴覚室の使用料を改定
令和 元年 10 月 23 日	新・福岡県立美術館建設地選定委員会開催
令和 2 年 1 月 16 日	同委員会報告
令和 2 年 1 月 27 日	同委員会報告を受け、新・福岡県立美術館の建設地（大濠公園内）決定
令和 2 年 2 月 28 日	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館（～5 月 18 日）
令和 2 年 7 月 20 日	第 1 回新福岡県立美術館基本計画策定委員会開催
令和 2 年 11 月 13 日	第 2 回新福岡県立美術館基本計画策定委員会開催
令和 3 年 2 月 21 日	第 3 回新福岡県立美術館基本計画策定委員会開催
令和 3 年 3 月 29 日	「どこでもケンピ」（福岡県立バーチャル美術館・edukenbi えでゅけんぴ）開設
令和 3 年 5 月 12 日	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館（～5 月 14 日） （5 月 15 日～6 月 20 日は部分開館）
令和 3 年 5 月 29 日	第 4 回新福岡県立美術館基本計画策定委員会開催
令和 3 年 8 月 6 日	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館（～9 月 6 日） （9 月 7 日～9 月 12 日は部分開館）
令和 3 年 8 月 29 日	第 5 回新福岡県立美術館基本計画策定委員会開催
令和 3 年 11 月 11 日	第 6 回新福岡県立美術館基本計画策定委員会開催
令和 3 年 11 月 30 日	「新福岡県立美術館基本計画」策定
令和 4 年 11 月 28 日	「新福岡県立美術館整備事業基本設計プロポーザル」一次審査開催
令和 5 年 1 月 21 日	「新福岡県立美術館整備事業基本設計プロポーザル」二次審査開催 株式会社 隈研吾建築都市設計事務所が設計者に決定
令和 5 年 2 月 28 日	熱源改修工事のため臨時休館（～6 月 4 日）
令和 5 年 3 月 20 日	新福岡県立美術館基本設計費が 2 月県議会にて議決
令和 5 年 12 月 26 日	エレベーター改修工事のため臨時休館（～3 月 31 日）
令和 6 年 12 月 22 日	福岡県立美術館駐車場運用終了
令和 7 年 3 月 28 日	須崎公園有料駐車場（旧福岡県立美術館駐車場）福岡市による運用開始

令和6年度 展覧会事業一覧

◆コレクション展

展覧会名	開催期間 (開催日数)	主 催	入場者数 (人)
コレクション展Ⅰ 「新聞美術館1」と小特集「鹿児島寿蔵」	6. 4. 2～ 6. 6. 30 (79 日間)	福岡県立美術館	4,493
コレクション展Ⅱ 「新聞美術館2」と小特集「久我五千男が集めた須恵焼」	6. 7. 9～ 6. 8. 29 (45 日間)	福岡県立美術館	1,720
コレクション展Ⅲ 「新聞美術館3」と小特集「モノのかたち」	7. 2. 18～ 7. 4. 13 (48 日間)	福岡県立美術館	1,777

◆企画展

展覧会名	開催期間 (開催日数)	主 催	入場者数 (人)
久留米絃と松枝家展	6. 10. 12～ 6. 12. 1 (44 日間)	福岡県立美術館	4,612
中村研一と中村琢二展	6. 12. 21～ 7. 2. 2 (31 日間)	福岡県立美術館	2,868

◆共催展

展覧会名	開催期間 (開催日数)	主 催	入場者数 (人)
「鹿児島睦 まいにち」展	6. 4. 24～ 6. 6. 23 (54 日間)	「鹿児島睦まいにち」展 福岡会場実行委員会	15,003
第79回福岡県美術展覧会「県展」	6. 9. 3～ 6. 11. 24 (61 日間) ※巡回展含む	福岡県美術展覧会 実行委員会	11,132
生誕100年 山下清展－百年目の大回想	6. 10. 25～ 6. 12. 22 (51 日間)	「生誕100年山下清展－ 百年目の大回想」 福岡会場実行委員会	36,198
令和6年度 福岡県立美術館所蔵品巡回展 「移動美術館展」	7. 2. 22～ 7. 3. 16 (21 日間) (芦屋町: 芦屋釜の里他2館にて開催)	令和6年度 福岡県立美術館所蔵品巡回展 「移動美術館展」実行委員会	2,483

令和6年度 月別入館者数一覧

月	常設展	企画展	共催展	貸館展	移動展 (芦屋町)	イベント 講演会等	小 計	美 術 図書室	ビデオ ブース	ハイビジョン ギャラリー	カフェ テラス	小 計	合 計
4	941		2,045	3,315		88	6,389	189	79	366	695	1,329	7,718
5	2,056		6,454	2,147		175	10,832	299	105	636	936	1,976	12,808
6	1,496		6,504	1,704		381	10,085	316	97	558	898	1,869	11,954
7	811			3,589		28	4,428	253	103	324	479	1,159	5,587
8	909					66	975	239	82	150	287	758	1,733
9			7,529			818	8,347	374	148	474	786	1,782	10,129
10		1,190	2,921	5,123		665	9,899	298	111	420	583	1,412	11,311
11		3,181	16,450	2,176		219	22,026	383	99	696	1,333	2,511	24,537
12		593	16,827	2,324		270	20,014	353	127	426	872	1,778	21,792
1		2,176		5,662		40	7,878	303	93	390	346	1,132	9,010
2	450	340		7,009	642	57	8,498	270	79	366	429	1,144	9,642
3	949			3,899	1,841	121	6,810	294	76	330	510	1,210	8,020
計	7,612	7,480	58,730	36,948	2,483	2,928	116,181	3,571	1,199	5,136	8,154	18,060	134,241

コレクション展Ⅰ「新聞美術館1」と小特集「鹿児島寿蔵」

◆会 期：令和6年4月2日(火)～6月30日(日) 79日間

◆休 館：月曜日（ただし、4/29(月・祝)、5/6(月・祝)は開館、5/7(火)は休館）

※会期中展示替えあり

前期：4月2日（火）～5月19日（日）／後期：5月21日（火）～6月30日（日）

◆会 場：4階展示室

◆入場料：一般 210(170)円、高大生 140(110)円、小中生 60(50)円

＊（ ）内は20名以上の団体割引料金

＊以下の方々を無料とした。

65歳以上の方、身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方及びその介護者、教職員が引率する高校生以下の方及びその引率者、土曜日来館の高校生以下の方

◆入場者数：4,493人

◆展覧会概要：

お問合せを多くいただいていたことから、本展では、令和4年11月から西日本新聞紙上で掲載が始まったコラム「新聞美術館」に登場した作品を特集した。前期と後期に分けて45点の作品を展示したが、作家や作品をより深く味わっていただけるよう、掲載作品を生み出す契機となった作品や、その後の展開を示す作品、関連する他の作家の作品なども併せて紹介した。

また、会場後半の小特集では、同時期に当館3階で開催された「鹿児島睦 まいにち」展とのコラボ企画として、鹿児島睦氏の大叔父にあたる人間国宝、鹿児島寿蔵を特集し、紙塑人形のほか、短歌書や陶芸作品なども展示して、当館のコレクション展に馴染みがない層にも足を運んでもらい、地元作家を知っていただく機会とした。

「鹿児島睦 まいにち」展の開幕後からはギャラリートークの参加者が伸び、アンケートでは初めて鹿児島寿蔵という作家に出会えた喜びの声を数多くいただいた。また、「新聞美術館」を見ての来館者も多かったことから、コラボ企画や新聞広報の効果を実感する展覧会となった。

＊主な出品作家：坂本繁二郎、井上三綱、中村琢二、梅崎雲嶺、山喜多二郎太ほか

◆関連事業：

・ギャラリートーク

4/20(土)、5/11(土)、5/18(土)、6/8(土)、6/22(土) いずれも14時から30分程度

計5回、参加者計32名

◆作成印刷物：

・展覧会広報用チラシ／出品リスト／出品作家解説

◆記事・広報等：

・中島由実子「新聞美術館～県美コレクションより 鹿児島寿蔵「紙塑人形『卑弥呼』」

『西日本新聞』2024年3月31日 朝刊

・福岡県立美術館レター「とっぷらいと」127号

・Instagram、X（旧Twitter）による広報

令和6(2024)年度 第1期コレクション展 出品作品リスト

福岡県立美術館

4月2日(火)～6月30日(日)

前期：4月2日(火)～5月19日(日) 後期：5月21日(火)～6月30日(日)

新聞美術館展 1

	1	黒田清輝	(1866-1924)	ルノワール《水浴の女》模写	明治43(1910)年	油彩・キャンバスボード	
★	2	藤島武二	(1867-1943)	山中湖畔の朝	大正5(1916)年	油彩・画布	
★	3	山崎朝雲	(1867-1954)	力角之宿祢	大正15(1926)年	木彫	
★	4	岡田三郎助	(1869-1939)	婦人像	明治42(1909)年	油彩・画布	
	5	満谷国四郎	(1874-1936)	山中湖畔	明治43(1910)年	油彩・画布	
	6	梅崎雲嶺	(1881-1962)	萬仞霊峰図	昭和5-14(1930-39)年	紙本墨画	
★	7	梅崎雲嶺		蓬萊朝陽図	昭和23(1948)年	絹本着色	
	8	青木 繁	(1882-1911)	わだつみのいろこの宮(下絵)	明治40(1907)年	油彩・画布	
	9	坂本繁二郎	(1882-1969)	巴里の乞食	大正12(1923)年	油彩・画布	
★	10	坂本繁二郎		放牧場	昭和42(1967)年	油彩・画布	
★	11	水上泰生	(1882-1951)	山々の装ひ	大正6(1917)年	絹本金地着色	後期
★	12	今中素友	(1886-1959)	姪の浜の真景	大正5(1916)年	絹本着色	前期
	13	今中素友		鷺暮色	制作年不詳	紙本墨画	前期
★	14	松田諦晶	(1886-1961)	緑蔭高良川女人群	昭和5(1930)年	油彩・画布	
	15	松田諦晶		今宿海岸暮色	昭和9(1934)年	油彩・画布	
	16	高島野十郎	(1890-1975)	蠟燭	大正時代(1912-26年)	油彩・板	
★	17	高島野十郎		月	昭和37(1962)年	油彩・画布	
	18	児島善三郎	(1893-1962)	満開	昭和23(1948)年	油彩・画布	
★	19	児島善三郎		静物	昭和24(1949)年	油彩・画布	寄託作品
★	20	松永冠山	(1894-1965)	行く春	昭和5(1930)年	紙本着色	前期
★	21	古賀春江	(1895-1933)	窓	昭和2(1927)年	油彩・画布	
	22	古賀春江		漁夫	昭和4(1929)年	油彩・画布	
★	23	中村研一	(1895-1967)	サイゴンの夢	昭和22(1947)年	油彩・画布	
★	24	中村琢二	(1897-1988)	少女	昭和37(1962)年	油彩・画布	
	25	中村琢二		木曾の秋	制作年不詳	油彩・画布	
★	26	富永朝堂	(1897-1987)	玄海灘(二)	昭和37(1962)年	木彫	4階ロビーに展示
	27	山喜多二郎太	(1897-1965)	静物	昭和15(1940)年	油彩・画布	
★	28	山喜多二郎太		田を耕す	昭和35(1960)年	紙本墨画淡彩	
★	29	井上三綱	(1899-1981)	駆ける	昭和34(1959)年	水彩(混合技法)・紙	
★	30	柳瀬正夢	(1900-1945)	果樹島園	大正7年(1918)年	油彩・画布	
★	31	坂 宗一	(1902-1990)	村の闘鶏	昭和17(1942)年	油彩・画布	
	32	坂 宗一		桜とあじさい	昭和45-64(1970-89)年	紙本墨画	前期
	33	坂 宗一		水郷	昭和45-64(1970-89)年	紙本墨画	後期
★	34	松枝玉記	(1905-1989)	風と光	昭和46(1971)年	藍染綿織物	
★	35	伊藤研之	(1907-1978)	野	昭和23(1948)年	油彩・画布	
	36	伊藤研之		波止場の馬	昭和50(1975)年	油彩・画布	
★	37	赤星 孝	(1912-1983)	イビサの幻想	昭和45(1970)年	油彩・画布	
	38	大内田茂士	(1913-1994)	はれゆく淡水	昭和46(1971)年	油彩・画布	
★	39	大内田茂士		落合の街角	平成5(1993)年	油彩、コラージュ・画布	
★	40	赤星信子	(1914-2015)	赤い構図	昭和49(1974)年	油彩・画布	
	41	野見山暁治	(1920-2023)	廃坑(B)	昭和26(1951)年	油彩・画布	寄託作品 前期
	42	野見山暁治		廃坑(C)	昭和26(1951)年	油彩・画布	寄託作品 後期
★	43	野見山暁治		言いたいことばかり	平成18(2006)年	油彩・画布	
	44	松本英一郎	(1932-2001)	退屈な風景(牛)	昭和47(1972)年	油彩・画布	
★	45	松本英一郎		さくら・うし	平成2(1990)年	油彩・画布	

(★は「新聞美術館」掲載作品)

※20松永冠山 … 冠の「寸」は「りっとう」

小特集 鹿児島寿蔵

ゆめをおもいえがく

46	鹿児島寿蔵	(1898-1982)	紙塑人形「卑弥呼」	昭和41(1966)年	紙塑、自染和紙	
47	鹿児島寿蔵		紙塑人形「志賀島幻想箕立事」	昭和42(1967)年	紙塑、自染和紙	
48	鹿児島寿蔵		紙塑人形「鵜川」	昭和44(1969)年	紙塑、自染和紙・筆彩色	
49	鹿児島寿蔵		紙塑人形「鹿島の宮の春の宴」	昭和51(1976)年	紙塑、自染和紙	
50	鹿児島寿蔵		短歌書「述懐 紙塑のわざは」	昭和46(1971)年	紙本墨書	

ちいさきものへのまなざし

51	鹿児島寿蔵		紙塑人形「海の幸」	昭和43(1968)年	紙塑、自染和紙	前期
52	鹿児島寿蔵		紙塑人形「鷺と良弁」	昭和47(1972)年	紙塑、自染和紙	後期
53	鹿児島寿蔵		紙塑人形「ひなたぼっこ」	昭和27(1952)年頃	紙塑、自染和紙	
54	鹿児島寿蔵		紙塑人形「朱衣の太子」	昭和45(1970)年	紙塑、自染和紙	
55	鹿児島寿蔵		紙塑香合 梅花文	昭和42(1967)年頃	紙塑、自染和紙	
56	鹿児島寿蔵		紙塑人形「日灼けの裸女」	昭和45(1970)年	紙塑、自染和紙	
57	鹿児島寿蔵		紙塑人形「なぎさの裸女」	昭和45(1970)年	紙塑、自染和紙	
58	鹿児島寿蔵		ぐいのみ	不詳	陶器	
59	鹿児島寿蔵		ぐいのみ いけるくち	昭和49(1974)年以前	陶器	
60	鹿児島寿蔵		紙塑人形「みみづく太夫」	昭和初期	紙塑	
61	鹿児島寿蔵		紙塑人形「みゝ津久大夫」	昭和20年代	紙塑、自染和紙	

つちをこねる

62	鹿児島寿蔵		陶芸人形「花の六地藏尊」	昭和48(1973)年	陶	
63	鹿児島寿蔵		陶芸人形「玄奘の旅」	昭和30(1955)年	陶	
64	鹿児島寿蔵		陶芸人形「南海の夢」	昭和33(1958)年	陶	
65	鹿児島寿蔵		陶芸人形「角兵衛獅子」	昭和26(1951)年	陶	
66	鹿児島寿蔵		をとめ子の	不詳	陶器	
67	鹿児島寿蔵		飾皿「をとめ子の」	不詳	磁器	
68	鹿児島寿蔵		白磁染付皿「まつら湯」	昭和46(1971)年	磁器	

ありのままをうたう

69	鹿児島寿蔵		短歌書「ひとがたの」	不詳	紙本墨書	
70	鹿児島寿蔵		短歌書「御題 子ども 長袴」	不詳	紙本墨書（大高檀紙）	
71	鹿児島寿蔵		短歌書「御題 家 たかはらの」	不詳	紙本墨書（大高檀紙）	
72	鹿児島寿蔵		短歌書「落の臺」	不詳	紙本墨書	
73	鹿児島寿蔵		短歌書「白樺の」	不詳	紙本墨書	
74	鹿児島寿蔵		短歌書「山なみの」	不詳	紙本墨書	
75	鹿児島寿蔵		短歌書「秋の日の」	昭和48(1973)年	紙本墨書	
76	鹿児島寿蔵		短歌書「鱒池の」	不詳	紙本墨書	

柏崎栄助とNICと鹿児島睦

77	柏崎栄助	(1910-1986)	足跡形色漆盛器	昭和9～17(1934-1942)年	木胎色漆塗	
78	柏崎栄助		黒漆鉢5	昭和9～17(1934-1942)年	木胎黒漆塗	
79	柏崎栄助		柿形漆小物入	昭和9～17(1934-1942)年	木胎黒朱漆塗	
80	柏崎栄助		色漆鉢1	昭和9～17(1934-1942)年	木胎色漆塗	
81	柏崎栄助		蠟螂文朱漆パフ入	昭和9～17(1934-1942)年	木胎朱漆塗	
82	柏崎栄助		アルマイト貼色漆手箱2	昭和18(1943)年頃	木胎漆塗、アルマイト板	
83	柏崎栄助		白磁ティーカップ	昭和25～28(1950-1953)年	磁器	
84	柏崎栄助		プラスチックボール6	昭和34～39(1959-1964)年	プラスチック	
85	柏崎栄助		ガラス組鉢1	昭和17(1942)年頃	ガラス	
86	柏崎栄助		筑後花筵見本1	昭和40～45(1965-1970)年	蘭草	前期
87	柏崎栄助		筑後花筵見本2	昭和40～45(1965-1970)年	蘭草	後期

コレクション展Ⅱ「新聞美術館2」と小特集「久我五千男^{くが いちお}が集めた須恵焼」

◆会 期：令和6年7月9日(火)～8月29日(木) 45日間

◆休 館：月曜日（ただし、7/15(月・祝)、7/16(火)は休館）

◆会 場：4階展示室

◆入場料：一般 210(170)円、高大生 140(110)円、小中生 60(50)円

＊（ ）内は20名以上の団体割引料金

＊以下の方々を無料とした。

65歳以上の方、身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方及びその介護者、教職員が引率する高校生以下の方及びその引率者、土曜日来館の高校生以下の方

◆入場者数：1,720人

◆展覧会概要：

第Ⅰ期に引き続き、西日本新聞紙上で掲載中のコラム「新聞美術館」に登場した作品を中心に、掲載作品を生み出す契機となった作品、その後の展開を示す作品、関連する他の作家の作品など、併せて43点の作品を展示した。

第Ⅱ期の小特集では、九州各地の古陶磁のコレクターであった久我五千男^{くが いちお}について、260年前の江戸時代に、今の糟屋郡須恵町で生産され始めた磁器「須恵焼」にスポットを当てて、当館の須恵焼コレクション全55点を中心に展示した。

イベントでは、ギャラリートークや、手作りの布絵本「須恵焼ものがたり」の読み聞かせ会のほか、須恵町立美術センター久我記念館学芸員、山下啓之氏による「須恵焼特別ギャラリートーク」を開催したが、会期中に掲載された「新聞美術館」で広報することができ、多くの方に参加いただいた。また、アンケートでは「思いがけず素晴らしい作品に出会うことができた」「また来館したい」という嬉しい声をいただくことができた。

＊主な出品作家：坂本繁二郎、高島野十郎、野見山暁治、川辺御楯、富田溪仙、上田宇三郎ほか

◆関連事業：

・須恵焼特別ギャラリートーク

8/10(土) 14時～ 講師：須恵町立美術センター久我記念館学芸員 山下 啓之氏 参加者38名

・ギャラリートーク

7/15(月・祝)、7/27(土)、8/24(土) いずれも14時から30分程度 計3回、参加者計22名

・布絵本「須恵焼ものがたり」読み聞かせ会

7/27(土)、8/2(金)、8/10(土) いずれも11時から15分程度

8/14(水)、8/20(火)、8/29(木) いずれも14時から15分程度 計6回、参加者計26名

◆作成印刷物：

・展覧会広報用チラシ／出品リスト／出品作家解説

◆記事・広報等：

・岡部るい「新聞美術館～県美コレクションより 須恵「呉須菱馬図水指」」

『西日本新聞』2024年8月4日 朝刊

・福岡県立美術館レター「とつぷらいと」128号

・Instagram、X（旧Twitter）による広報

令和6(2024)年度 第Ⅱ期コレクション展 出品作品リスト

福岡県立美術館

7月9日(火)～8月29日(木) 4階展示室

新聞美術館展 2

★	1	川辺御楯	(1838-1905)	蛭狩之図	制作年未詳	絹本着色	
	2	川辺御楯		源氏物語 花の宴・伊勢物語 龍田山	制作年未詳	絹本着色	
	3	川辺御楯		新田義貞図	制作年未詳	絹本着色	
	4	ラファエル・コラン	(1850-1916)	男の肖像	制作年未詳	絹本着色	
★	5	藤島武二	(1867-1943)	山中湖畔の朝	大正5(1916)年	油彩・画布	
★	6	山崎朝雲	(1867-1954)	力角之宿祢	大正15(1926)年	木彫	
	7	満谷国四郎	(1874-1936)	山中湖畔	明治43(1910)年	油彩・画布	
★	8	満谷国四郎		瀬戸内海	明治44(1911)年頃	油彩・画布	
	9	富田溪仙	(1879-1936)	雨中の鷺	大正6(1917)年	絹本着色	
★	10	富田溪仙		梅尾晩秋	昭和9(1934)年	絹本着色	
	11	坂本繁二郎	(1882-1969)	鋏	昭和39(1964)年	油彩・画布	個人寄託
★	12	坂本繁二郎		放牧場	昭和42(1967)年	油彩・画布	
	13	松田諦晶	(1886-1961)	樫紅葉(音羽護国寺)	大正3(1914)年	油彩・画布	
★	14	松田諦晶		緑蔭高良川女人群	昭和5(1930)年	油彩・画布	
	15	高島野十郎	(1890-1975)	蠟燭	大正時代(1912-26)	油彩・板	
★	16	高島野十郎		月	昭和37(1962)年	油彩・画布	
★	17	児島善三郎	(1893-1962)	蓮花	昭和14(1939)年	油彩・画布	
★	18	古賀春江	(1895-1933)	窓	昭和2(1927)年	油彩・画布	
	19	古賀春江		漁夫	昭和4(1929)年	油彩・画布	
★	20	中村研一	(1895-1967)	サイゴンの夢	昭和22(1947)年	油彩・画布	
	21	中村研一		岡部タツ像	昭和13(1938)年	油彩・画布	
	22	山喜多二郎太	(1897-1965)	海	昭和10(1935)年	油彩・画布	
★	23	山喜多二郎太		田を耕す	昭和35(1960)年	紙本墨画淡彩	
★	24	富永朝堂	(1897-1987)	玄海灘(二)	昭和37(1962)年	木彫	4階ロビーに展示
★	25	中村琢二	(1897-1988)	少女	昭和37(1962)年	油彩・画布	
	26	中村琢二		西伊豆	昭和62(1987)年	油彩・画布	
★	27	坂 宗一	(1902-1990)	村の闘鶏	昭和17(1942)年	油彩・画布	
	28	松枝玉記	(1905-1989)	着尺「螢火」	昭和33(1958)年	藍染綿織物	
	29	松枝玉記		着物「群鶴」	昭和58(1983)年	藍染綿織物	
★	30	伊藤研之	(1907-1978)	野	昭和23(1948)年	油彩・画布	
	31	伊藤研之		太陽の街(裏街)	昭和41(1966)年	油彩・画布	
★	32	上田宇三郎	(1912-1964)	裸婦 鏡の前の立像	昭和28(1953)年	紙本着色	
★	33	赤星 孝	(1912-1983)	イビサの幻想	昭和45(1970)年	油彩・画布	
	34	久野大正	(1913-1987)	石貌	昭和58(1983)年	紙本墨画	
	35	大内田茂士	(1913-1994)	晩夏	昭和60(1985)年	油彩、コラージュ・画布	
★	36	大内田茂士		落合の街角	平成5(1993)年	油彩、コラージュ・画布	
	37	野見山暁治	(1920-2023)	妹の像	昭和18(1943)年	油彩・画布	
★	38	野見山暁治		言いたいことばかり	平成18(2006)年	油彩・画布	
★	39	藤田吉香	(1929-1999)	蓮池荷風	昭和49(1974)年	油彩・画布	
★	40	松本英一郎	(1932-2001)	さくら・うし	平成2(1990)年	油彩・画布	

(★は「新聞美術館」掲載作品)

41	坂本繁二郎	能面	昭和30(1955)年	油彩・画布
42	坂本繁二郎	(1882-1969) 石	昭和29(1954)年	水彩・紙
43	四夷星乃	(1901-1965) K氏の像	昭和32(1957)年	絹本着色

久我の九州古陶磁コレクションから

44	上野	三彩茶碗	18世紀	磁器
45	田香	瑠璃釉染付梅花文三足台鉢	19世紀	磁器
46	八代	象嵌馬文菱形水指	江戸後期～明治初期	磁器
47	小代	灰釉四方水指	江戸中期	磁器
48	網田	染付蓮文皿	明治10年	磁器
49	一勝地	灰釉瓢形瓶	江戸後期	磁器
50	水平	飴釉茶碗	近代	磁器
51	志賀	染付松竹梅文茶碗	江戸中期	磁器
52	薩摩	黒釉灰釉流水注	江戸後期	磁器
53	白石	染付水仙文皿	明治期	磁器
54	平戸	瑠璃釉龍文六角瓶	江戸末期	磁器
55	亀山	染付草花文四方水指	江戸後期	磁器
56	鵬ヶ崎	象嵌文字入茶碗	江戸末期	磁器
57	現川	刷毛目掻落桔梗文皿	江戸中期(17世紀末～18世紀初)	磁器
58	波佐見	染付コンブラ瓶	江戸後期	磁器
59	鍋島	色絵唐花文八角鉢	江戸中期(17世紀末～18世紀)	磁器
60	柿右衛門	色絵唐草龍文陶板	延宝年間	磁器
61	有田	染錦菊梅牡丹文蓋付壺	江戸中期(18世紀)	磁器
62	唐津	象嵌唐草蓮弁文鉢	江戸初期(17世紀)	磁器
63	宗七	在原業平像	文化文政年間頃	磁器
64	高取	灰釉水指	江戸時代	磁器
65	小石原	打掛釉瓢形大徳利	江戸末期	磁器
66	釈形	三耳付葉茶壺	江戸後期	磁器
67	星野	三耳付葉茶壺 銘 波文	江戸後期	磁器
68	柳原	海峯釉木瓜形匂入水指	19世紀前半	磁器
69	東野亭	灰釉下無形花生	江戸末期	磁器
70	朝妻	色絵菊花文深鉢	18世紀前半	磁器
71	朝田	染付吉夢図徳利	天保年間	磁器
72	赤坂	梅竹文徳利	江戸末期～明治	磁器
73	二川	二彩松文壺	明治期	磁器

久我の須恵焼コレクション全55点

				磁器
74	須恵	呉須菱馬図水指	天明年間	磁器
75	須恵	染付秋草文鉢	江戸末期～明治	磁器
76	須恵	染付蓮池図煎茶碗	明治頃	磁器
77	須恵	染付松竹梅文水注	江戸末期～明治	磁器
78	須恵	染付人物図六角風炉	江戸末期	磁器
79	須恵	染付算木文火入	制作年未詳	磁器
80	須恵	染付茶碗	江戸後期	磁器

81	須恵	染付菱形水注	文政年間以前か	磁器	
82	須恵	染付木瓜に矢羽文蓋物	江戸後期～明治	磁器	
83	須恵	染付牡丹文蓋物	(虎図)弘化3年	磁器	虎図(蓋裏に上絵付)作者:斎藤秋圃
84	須恵	染付蟹藻文蓮葉形皿	江戸末期～明治初期	磁器	
85	須恵	染付菊花文端反鉢	文化文政年間頃か	磁器	
86	須恵	染付寿老人図火鉢	江戸末期～明治	磁器	
87	須恵	染付寿老人図皿	江戸末期～明治	磁器	
88	須恵	染付忍菰文輪花形向付	天明～文化年間	磁器	
89	有田	染付葡萄雲文輪花皿	江戸中期(18世紀)	磁器	有田皿山
90	須恵	染付山水図中皿	江戸後期～明治	磁器	
91	須恵	白磁立鼓花立	江戸末期	磁器	
92	須恵	染付松竹梅文盃台	制作年未詳	磁器	
93	須恵	染付共蓋角盃台	制作年未詳	磁器	
94	須恵	染付水牛図袴腰香炉	制作年未詳	磁器	
95	須恵	染付花鳥文鉢	制作年未詳	磁器	
96	須恵	染付牡丹菊文輪花形鉢	制作年未詳	磁器	
97	須恵	金錆瓢形徳利	明治期	磁器	
98	須恵	染付山水図金錆花器	明治期	磁器	
99	須恵	金錆猪口	明治頃	磁器	
100	須恵	染付菊花文金錆片身替小皿	明治期	磁器	
101	須恵	染付牡丹文食籠	文化文政年間頃か	磁器	
102	須恵	染付菊花文蓋付鉢	制作年未詳	磁器	
103	須恵	染付十二支文飾皿	制作年未詳	磁器	
104	須恵	染付柳に蛙小野道風図花瓶	制作年未詳	磁器	
105	須恵	染付舞鶴城図桶水指	明治頃	磁器	
106	須恵	染付牡丹文手焙	江戸末期	磁器	
107	須恵	染付舟遊図花瓶	江戸末期	磁器	
108	須恵	染付蛸唐草文銚子	制作年未詳	磁器	肥前の可能性あり
109	須恵	白磁瓢形徳利	制作年未詳	磁器	他窯の可能性あり
110	須恵	白磁徳利	制作年未詳	磁器	肥前の可能性あり
111	須恵	染付蛸唐草文徳利	制作年未詳	磁器	肥前の可能性あり
112	須恵	染付鳥文汲出茶碗	制作年未詳	磁器	他窯の可能性あり
113	須恵	染付輪花形盃台	制作年未詳	磁器	他窯の可能性あり
114	須恵	染付松竹梅文輪花形深鉢	制作年未詳	磁器	肥前の可能性あり
115	須恵	染付山水文小皿	制作年未詳	磁器	他窯の可能性あり
116	須恵	染付吉祥文共蓋水指	制作年未詳	磁器	他窯の可能性あり
117	須恵	染付舞鶴城図小皿	制作年未詳	磁器	他窯の可能性あり
118	須恵	染付十二支文鉢	制作年未詳	磁器	肥前の可能性あり
119	須恵	染付牡丹文大皿	制作年未詳	磁器	肥前の可能性あり
120	須恵	染付牡丹文大皿	制作年未詳	磁器	
121	須恵	染付草花文輪花形大皿	制作年未詳	磁器	肥前の可能性あり
122	須恵	色絵山水唐獅子文端反鉢	制作年未詳	磁器	他窯の可能性あり
123	須恵	色絵牡丹唐花文鉢	制作年未詳	磁器	他窯の可能性あり
124	須恵	色絵楼閣山水図舟徳利	制作年未詳	磁器	他窯の可能性あり

125	須恵	色絵龍鳳文鉢	制作年未詳	磁器	他窯の可能性あり
126	須恵	色絵龍鳳文額皿	制作年未詳	磁器	他窯の可能性あり
127	須恵	色絵藤文荒磯大鉢	制作年未詳	磁器	他窯の可能性あり
128	須恵	色絵菊花文皿	制作年未詳	磁器	他窯の可能性あり

久我のキリシタン関係コレクションから

129	不詳	灰釉水差			
130	不詳	朱漆雲龍文箱	江戸前期(17世紀)	木胎漆塗	
131	有田	色絵松竹梅文輪花鉢	制作年未詳	磁器	
132	不詳	螺鈿花唐草文書格	桃山～江戸初期	木胎漆塗	
133	不詳	金彩浮彫十字架細川九曜紋羊型石板	制作年未詳	カンラン石	
134	津高和一	(1911-1995) 羊形石板の印象による	昭和50年(1975)	油彩・画布	

コレクション展Ⅲ「新聞美術館3」と小特集「モノのかたち」

◆会 期：令和7年2月18日(火)～4月13日(日) 48日間

◆休 館：月曜日（ただし、2/24(月・休)は開館、2/25(火)は休館）

◆会 場：4階展示室

◆入場料：一般 210(170)円、高大生 140(110)円、小中生 60(50)円

＊（ ）内は20名以上の団体割引料金

＊以下の方々を無料とした。

65歳以上の方、身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方及びその介護者、教職員が引率する高校生以下の方及びその引率者、土曜日来館の高校生以下の方

◆入場者数：1,777人

◆展覧会概要：

第Ⅰ期～Ⅱ期に引き続き、西日本新聞紙上で掲載中のコラム「新聞美術館」に登場した作品を中心に、掲載作品を生み出す契機となった作品、その後の展開を示す作品、関連する他の作家の作品など35点を、洋画や日本画、木彫作品などバラエティーに富んだ内容で展示した。

第Ⅲ期の小特集では「モノのかたち」と題して、立体的なオブジェや日常にあるモノで構成された作品、異種の素材を組み合わせで作られた作品など、多様な形式と構造を見せる立体的作品25点を展示した。その中で特に注目の作品としたのが、戦後福岡を代表する前衛美術集団「九州派」の中軸作家・菊畑茂久馬の《ルーレット（ターゲット）》である。1965年にニューヨーク近代美術館の企画で全米各地の美術館に巡回した「新しい日本の絵画と彫刻展」に出品された「ルーレット」3点のひとつで、長い間行方が分からなくなっていた幻の作品であり、数年前に所蔵者が判明し、本年度に当館の所蔵となった。また今年は、菊畑茂久馬没後5周年にあたり、「一般財団法人菊畑茂久馬青家美術協会」が企画した「LINKS－菊畑茂久馬」のチラシ配布やロゴ掲示に協力した。

＊主な出品作家：吉村忠夫、横尾芳月、坂本善三、柴田善二、和田千秋、入江比呂、菊畑茂久馬ほか

◆関連事業：

・ギャラリートーク

2/22(土)、3/2(日)、3/15(土)、3/29(土) いずれも14時から30分程度

計4回、参加者計23名

◆作成印刷物：

・展覧会広報用チラシ／出品リスト／出品作家解説

◆記事・広報等：

・「コレクション展 第Ⅲ期」『mute』no.43

・「福岡県立美術館 コレクション展 第Ⅲ期」電子版『西日本新聞 me』

2025年2月17日

・山口洋三「「LINKS-菊畑茂久馬」と《ルーレット》 戦後美術史の中の菊畑茂久馬」

電子版『ARTONE』、2025年2月26日

・西本匡伸「新聞美術館～県美コレクションより 菊畑茂久馬「ルーレット（ターゲット）」」

『西日本新聞』2025年2月23日 朝刊

- ・西本匡伸「新聞美術館～県美コレクションより 宮崎準之助「ギッコン車」」

『西日本新聞社』2025年3月9日 朝刊

- ・渡辺亮一「「LINKS-菊畑茂久馬」「九州派」スターの軌跡」

『毎日新聞』2025年3月10日 夕刊

- ・西本匡伸「新聞美術館～県美コレクションより 入江比呂「木・石・鉄」」

『西日本新聞』2025年4月6日 朝刊

- ・福岡県立美術館レター「とつぶらいと」130号
- ・Instagram、X（旧 Twitter）による広報

令和7年2月18日(火)～4月13日(日) 4階展示室

新聞美術館展 3

★	1	作者不詳	海亀図（尾形家絵画資料）	江戸時代	紙本着色	福岡県指定有形文化財
	2	作者不詳	海亀図（尾形家絵画資料）	江戸時代	紙本着色	福岡県指定有形文化財
	3	作者不詳	海亀図（尾形家絵画資料）	江戸時代	紙本着色	福岡県指定有形文化財
	4	作者不詳	路頭桜図（尾形家絵画資料）	江戸時代	紙本着色	福岡県指定有形文化財
	5	作者不詳	桜花童子図（尾形家絵画資料）	江戸時代	紙本淡彩	福岡県指定有形文化財
	6	尾形洞谷（1753-1817）	梅下高士図（尾形家絵画資料）	安永9(1780)年	紙本淡彩	福岡県指定有形文化財
	7	尾形洞眠（1839-1895）	梅に亀図（尾形家絵画資料）	江戸後期	紙本淡彩	福岡県指定有形文化財
	8	吉田博（1876-1950）	穂高の春	大正4(1915)年	油彩・画布	
★	9	吉田博	雲表	明治42(1909)年	水彩・紙	
★	10	高島野十郎（1890-1975）	絡子をかけたる自画像	大正9(1920)年	油彩・画布	
	11	高島野十郎	りんごを手にした自画像	大正12(1923)年	油彩・画布	
	12	児島善三郎（1893-1962）	自画像	昭和20(1945)年頃	油彩・画布	個人寄託
	13	山田栄二（1912-1985）	赤い自画像	昭和20-28(1945-53)年	油彩・画布	
	14	小早川清（1895-1948）	美人図	制作年不詳	絹本着色	
	15	中村琢二（1897-1988）	白馬三山	昭和41(1966)年	油彩・画布	
★	16	横尾芳月（1897-1990）	茶々殿	昭和2(1927)年	絹本着色	
★	17	富永朝堂（1897-1987）	玄海灘（二）	昭和37(1962)年	木彫、着色	4階ロビーに展示
	18	田崎広助（1898-1984）	阿蘇山	制作年不詳	油彩・画布	
★	19	吉村忠夫（1898-1952）	麻須良乎	昭和12(1937)年	絹本着色	
	20	吉村忠夫	麻須良乎	昭和41(1941)年	絹本着色	
	21	吉村忠夫	殿上人賜禄図	制作年不詳	絹本着色	
★	22	安永良徳（1902-1970）	首B	昭和7(1932)年	ブロンズ	
	23	宇治山哲平（1910-1986）	古希自像	昭和56(1981)年	油彩・画布	
★	24	宇治山哲平	やまとごころ	昭和60(1985)年	油彩・画布	
★	25	坂本善三（1911-1987）	連帯	昭和42(1967)年、同55年加筆	油彩・画布	
	26	坂本善三	城	昭和59(1984)	リトグラフ・紙	
	27	坂本善三	風	昭和60(1985)年	リトグラフ・紙	
★	28	江上茂雄（1912-2014）	べにいろの雲	昭和39(1964)年頃	オイルパステル・紙	
	29	江上茂雄	黄耀	昭和39(1964)年頃	クレパス・紙	
	30	野見山暁治（1920-2023）	自画像	昭和22(1947)年頃	油彩・板	
★	31	野見山暁治	蔵王	昭和41(1966)年	油彩・画布	
★	32	柴田善二（1936-2023）	そこにハエが一匹（馬）	昭和44(1969)年	木彫	
	33	柴田善二	イボイノシシ	平成2(1990)年	木彫	
	34	柴田善二	猫	平成2(1990)年	木彫	
	35	柴田善二	オランウータン	平成26(2014)年	木彫	

(★は「新聞美術館」掲載作品)

小特集 モノのかたち

36	入江比呂（1907-1992）	木・石・鉄	昭和44(1969)年	ミクスト・メディア
37	入江比呂	五徳円	昭和57(1982)年	ミクスト・メディア
38	豊福知徳（1925-2019）	構成	昭和37-48(1962-73)年	木彫に着色

★	39	豊福知徳	光の探求 '89- I	平成元(1989)年	マホガニー	パネル展示
	40	豊福知徳	CAELUM ' 94	平成6(1994)年	木	4 階エントランスに展示
	41	宮崎準之助 (1930-1989)	踏んづけられた虫	昭和38(1963)年	針金、綿ほか	
	42	宮崎準之助	ギッコン車	昭和48(1973)年	樟、桜	
	43	宮崎準之助	離れて歩く人	昭和52(1977) 年	楠、桜	
	44	菊畑茂久馬 (1935-2020)	ルーレット (ターゲット)	昭和39(1964)年	ミクスト・メディア	
	45	菊畑茂久馬	花開く No.2	昭和61(1986)年	ブロンズ	
	46	菊畑茂久馬	蜜蝋の房	昭和61(1986)年	ブロンズ	
	47	菊畑茂久馬	氷囊・水のかたち	昭和62(1987)年	ブロンズ	
	48	菊畑茂久馬	林檎と三角錐	昭和62(1987)年	ブロンズ	
	49	菊畑茂久馬	心臓の兎をつけた馬	昭和62(1987)年	ブロンズ	
★	50	菊畑茂久馬	天動説 六	昭和58(1983)年	油彩、蜜蝋、木・画布	
	51	菊畑茂久馬	天動説 九	昭和59(1984)年、同62年加筆	油彩、蜜蝋、木・画布	
	52	江上計太 (1951-)	OTHER HALF NO.2	平成5(1993)年	アクリル・合板	
	53	江上計太	Psychedelic Baroquism No.15のための ドロ잉	平成7(1995) 年	鉛筆、アクリル・紙	
★	54	江上計太	Phychedelic Baroquism No.15	平成7(1995)年	アクリル・合板	
	55	今泉憲治 (1954-2005)	EA225h-7pII	平成14(2002)年	ミクスト・メディア	
	56	和田千秋 (1957-)	床の生活 (アトリエ)	平成5(1993)年	ミクスト・メディア	個人寄託
	57	和田千秋	床の生活 (訓練室)	平成5(1993)年	ミクスト・メディア	個人寄託
	58	和田千秋	床の生活 (居間)	平成5(1993)年	ミクスト・メディア	個人寄託
	59	和田千秋	床の生活 (クローリング2)	平成5(1993)年	木炭、水彩・紙	個人寄託
	60	和田千秋	床の生活 (うれしい思い出)	平成5(1993)年	訓練用滑り台、寝返り防	
	61	和田千秋	「障碍の美術」について	平成5(1993)年	パネル	個人寄託
	62	和田千秋	床の文化	平成5(1993)年	パネル	個人寄託
		ビデオ	「入江比呂とアトリエ」	平成29(2017)年		制作：東京都豊島区

(★は「新聞美術館」掲載作品)

つたえ、まじわり、藍きらめく。

久留米絣と松枝家展

◆会 期：令和6年10月12日（土）～令和6年12月1日（日） 44日間

◆休 館：月曜日（ただし、祝休日の場合はその翌平日）

◆会 場：4階展示室

◆入場料：一般 800（600）円、高大生 500（300）円、小中生 300（200）円

＊65歳以上の方は特別割引料金（600円）

＊（ ）内は20名以上の団体割引料金

＊以下の方々を無料とした。

身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方及びその介護者、教職引率による小・中・高等学校・中等教育学校・特別支援学校の児童生徒及びその引率者、土曜日の高校生以下の方

◆主 催：福岡県立美術館

◆特別協力：松枝家

◆入場者数：4,612人

◆展覧会概要：

19世紀初め頃に始まり、以後地場産業として、そして工芸、美術作品として広まった久留米絣は、時代ごとの盛衰を経ながら久留米を中心とする筑後地域に現在まで伝えられてきた。地域によって柄の特徴が大きく異なるが、西南戦争の頃から家業として取り組み始めた松枝家は、三潅地域の特徴である絵絣の系譜をひきつつ、現在まで久留米絣を制作し続けている。

本展では、福岡県の伝統工芸・久留米絣の「これまで」と「これから」を見つめるというテーマで、松枝家が代々染め織り出してきた着物や着尺、資料のほか、県内外の美術館や個人コレクターの作品など、松枝家歴代の名品約100点を展示した。

また、久留米市美術館で開催された「藍のものがたり」と「久留米絣と松枝家」をつなぐトークイベントをはじめ、松枝小夜子・崇弘氏と当館学芸員との対談、久留米絣の端切れを使って貼絵を作るワークショップなどイベントに力を入れたほか、工芸に馴染みがない世代にも関心を持ってもらえるよう、若手女性デザイナーを起用してチラシを2種類作成するなど、より多くの方に久留米絣に親しんでもらうための工夫を凝らした。

◆関連事業：

(1) 特別講演会

「松枝家の久留米絣の魅力ーグローバルな視点を交えて」

令和6年10月13日（日）14:00～

会場：福岡県立美術館 4階視聴覚室

登壇者：外館和子氏（多摩美術大学教授）

参加者：82名

(2) リレーイベント

「藍のものがたり」から「久留米絣と松枝家」へ

令和6年10月14日（月・祝）14:00～

会場：石橋文化ホール（久留米市野中町 1015）

登壇者：竹村眞一氏（京都芸術大学教授）、十四代今泉今右衛門氏（重要無形文化財「色絵磁器」保持者）、松枝小夜子氏（日本工芸会正会員、重要無形文化財久留米絣技術保持者会会員）、松枝崇弘氏（日本工芸会正会員）

参加者：352 名

(3) トークイベント

久留米絣と松枝家の「これまで」

令和 6 年 10 月 20 日（日）14:00～

会場：福岡県立美術館 4 階視聴覚室

登壇者：松枝小夜子氏、魚里洋一（新県立美術館建設室）

参加者：78 名

久留米絣と松枝家の「これから」

令和 6 年 11 月 2 日（土）14:00～

会場：福岡県立美術館 4 階視聴覚室

登壇者：松枝崇弘氏、中島由実子（当館学芸員）

参加者：54 名

(4) ワークショップ

「かすり・ぺたぺた」「かすり・とんからり」

会場：福岡県立美術館 4 階展示室

講師：松枝家

令和 6 年 11 月 10 日（日）11:00～12:00／14:00～15:00 参加者計：13 名

(5) 担当学芸員によるギャラリートーク

会場：福岡県立美術館 4 階展示室内

①令和 6 年 10 月 19 日（土）14:00～

②令和 6 年 10 月 31 日（木）14:00～

③令和 6 年 11 月 16 日（土）14:00～

④令和 6 年 11 月 20 日（水）14:00～ 参加者計：62 名

◆作成印刷物等

- ・図録（A 4、111 ページ）

図録には年表や家系図、作品リストのほか、下記の論文を収載：山辺和行（多摩美術大学附属美術館館長）「松枝家絣展に寄せて」（再録）、中野三敏（九州大学名誉教授）「碑文 久留米絣碑—久留米市瀬ノ下町 水天宮境内—」（再録）、魚里洋一（福岡県立美術館前副館長）「久留米絣と松枝家 そして福岡県立美術館との長い道程」、中島由実子（福岡県立美術館学芸員）「久留米絣と松枝家の「これから」、桑野剛一（久留米大学名誉教授）「松枝家の藍菌と久留米絣」、大沼雅明（久留米大学）「松枝家の藍について～生物学的な観点から～」、「久留米絣ができるまで」

- ・B 2 ポスター、A 4 両面チラシ 2 種、当日券、招待券、一筆箋
- ・正面玄関サイン、仮囲い用シートサイン、館内看板（タペストリー）1 種、会場内パネル

◆記事・報道等

- ・外館和子「織物と女性たち」『毎日新聞』2024年9月8日 朝刊
- ・中島由実子「新聞美術館～県美コレクションより 松枝哲哉「久留米絣着物「筑後路・花火シリーズⅡ」」『西日本新聞』2024年10月27日 朝刊
- ・中島由実子「新聞美術館～県美コレクションより 松枝玉記「久留米絣着物「猷穀」」『西日本新聞』2024年11月24日 朝刊
- ・「「久留米絣」松枝家の軌跡をたどる」『西日本新聞』文化欄 2024年11月7日 朝刊

「久留米絣と松枝家」展示作品リスト

会期：2024年10月12日（土）～12月1日（日）（前期10/12～11/4 後期：11/6～12/1） 会場：福岡県立美術館 4 階展示室

展示番号	前後	作者	作品名	制作年	備考	所蔵
第1章 絣の花さく一栄・光次						
1	前	松枝玉記	久留米絣裂「短冊に筋格子」	1927		個人所蔵
2	後	松枝玉記	久留米絣裂「花椿」	1922		個人所蔵
3	前	松枝玉記	久留米絣裂「つなぎ井桁」	1922		個人所蔵
4	後	松枝玉記	久留米絣裂「七宝繋ぎ文」	1925		個人所蔵
5	前	松枝玉記	久留米絣裂「無題」	1926		個人所蔵
6	後	松枝玉記	久留米絣裂「こもろ唐草文」	1926		個人所蔵
7	前	松枝栄	久留米絣裂「無題」	1918		個人所蔵
8	後	松枝栄	久留米絣裂「無題」	1912		個人所蔵
9	前	松枝栄	久留米絣裂「無題」	1916		個人所蔵
10	後	松枝栄	久留米絣裂「角に三つ木」	1920		個人所蔵
11	前	松枝栄	久留米絣裂「菱繋ぎ」	1917		個人所蔵
12	後	松枝栄	久留米絣裂「巴井桁」	1915		個人所蔵
13	前	作者不詳	久留米絣布団地「水天宮に汽車」	c.1910		個人所蔵（福岡県立美術館寄託）
14	後	作者不詳	久留米絣布団地「水天宮（鶴亀）」	c.1907		個人所蔵（福岡県立美術館寄託）
15			久留米絣布団地			個人所蔵
16			久留米絣布団地			個人所蔵
17		松枝玉記	久留米絣額布「城」			個人所蔵
18		松枝玉記	久留米絣額布「城」下絵			個人所蔵
第2章 うたうような藍を一玉記						
19		松枝玉記	久留米絣着尺「倫子」	1963	第10回日本伝統工芸展（「構成」）	福岡県立美術館所蔵
21		松枝玉記	久留米絣着物「寿筵」	1967	第5回日本染織展（日本工芸会賞）（1968年）	個人所蔵
22	前	松枝玉記	久留米絣着物「水に潜る亀」	1979	第26回日本伝統工芸展	福岡県立美術館所蔵
23	後	松枝玉記	久留米絣着物「八十路の華」	1986		個人所蔵
24	前	松枝玉記	久留米絣着物「湖畔の橋」	1980	第28回日本伝統工芸展（1981年）	福岡県立美術館所蔵
25	後	松枝玉記	久留米絣着物「窓の梅」	1972	第19回日本伝統工芸展「窓の花」	福岡県立美術館所蔵
26	前	松枝哲哉	久留米絣着物「祝着」（崇弘に贈る）	1995		個人所蔵
27	前	松枝玉記	久留米絣着尺「風と光」	1972		福岡県立美術館所蔵
28	後	松枝玉記	久留米絣着物「風と光」	1972		個人所蔵
29		作者不詳	主基斎田耕作衣	1928		福岡市博物館所蔵
30	前	松枝玉記	久留米絣着物「献穀」	1976	第24回日本伝統工芸展（1977年）	福岡県立美術館所蔵
31	後	松枝玉記	久留米絣振袖「献穀」	1976	第24回日本伝統工芸展（1977年）	個人所蔵
32	前	松枝玉記	久留米絣着物「鳥」	1981	第29回日本伝統工芸展（1982年）	福岡県立美術館所蔵
33	後	松枝玉記	久留米絣着物「機之音」	1980	第27回日本伝統工芸展	福岡県立美術館所蔵
34		松枝玉記	久留米絣着尺「蓮文（青）」	1965	第13回日本染織展（1976年） 第12回日本伝統工芸展	福岡県立美術館所蔵
35		松枝玉記	久留米絣着尺「友情」	1970	第29回福岡県展会員出品（1973年）	福岡県立美術館所蔵

36	松枝玉記	久留米絣着尺「浄水の賛歌」	1972 第9回日本染織展「浄水紫歌」	福岡県立美術館所蔵
37	松枝玉記	久留米絣着尺「池辺の桜」	1980 第16回人間国宝新作展「池畔の桜」	福岡県立美術館所蔵
38 前	松枝玉記	久留米絣着物「楽しき厨」	1977 第13回西部工芸展	個人所蔵
39 後	松枝玉記	久留米絣着物「橋」	1967	福岡県立美術館所蔵
40 前	松枝玉記	久留米絣着尺「金波銀波」	1986	久留米絣技術保存会所蔵
41 後	松枝玉記	久留米絣着尺「ふるさとの丘」	1978	久留米絣技術保存会所蔵
42	松枝玉記	久留米絣着尺「二宮館」	1986	個人所蔵（福岡県立美術館寄託）
43	松枝玉記	久留米絣裂「十二支」	1966-1987 最古は午、最新は辰。「巳」は第15回福岡県美術協会展に「宝珠を抱く巳」で出品	福岡県立美術館所蔵
44 前	松枝玉記	久留米絣壁掛「福寿の海」	1970 1970年日本万国博覧会・福岡県物産展	個人所蔵
45 前	松枝玉記	久留米絣着尺「黄菊白菊」	1967	福岡県立美術館所蔵
46	松枝玉記	久留米絣着尺「落ち椿」	1968	福岡県立美術館所蔵
47 前	松枝玉記	久留米絣着尺「紫陽花の詩」	1976 福岡県美術協会展（美術協会賞）	福岡県立美術館所蔵
48	中村信喬	松枝玉記翁像	1991	個人所蔵
49		松枝玉記資料		個人所蔵

第3章 藍にひかりを追い求めて－哲哉

50 前	松枝哲哉	久留米絣着物「驟雨」	1985 第32回日本伝統工芸展	福岡県立美術館所蔵
51 後	松枝哲哉	久留米絣着物「地を割りて」	1988 第35回日本伝統工芸展	個人所蔵
52 前	松枝哲哉	久留米絣着物「春かすみ」	1993	三橋重信氏・睦子氏所蔵
53 後	松枝哲哉	久留米絣着物「爽風」	2013 第60回日本伝統工芸展	個人所蔵
54 前	松枝哲哉	久留米絣着物「杉木立」	1994 第41回日本伝統工芸展	中島正子氏所蔵
55 後	松枝哲哉	久留米絣着物「秋麗」	1992 第39回日本伝統工芸展	個人所蔵
56 後	松枝哲哉	久留米絣壁掛「飛天（妙正寺奉納）」	1994	個人所蔵
57 前	松枝哲哉	久留米絣着物「絮吹雪」	1990 第37回日本伝統工芸展	福岡県立美術館所蔵
58 後	松枝哲哉	久留米絣着物「花筏」	1990 第25回西部伝統工芸展（日本工芸会正会員賞）	個人所蔵
59 前	松枝哲哉	久留米絣着物「宝尽くし」	2014 文化財制作	個人所蔵
60 後	松枝哲哉	久留米絣着物「藤の椿」	2019	個人所蔵
61 前	松枝哲哉	久留米絣着物「昂」	2004 第39回西部伝統工芸展	個人所蔵
62 後	松枝哲哉	久留米絣着物「煌」	2014 第61回日本伝統工芸展	個人所蔵
63 前	松枝哲哉	久留米絣着物「井筒」	2002	関くに子氏所蔵
64 後	松枝哲哉	久留米絣着物「雪月萃輝」	2011 第58回日本伝統工芸展	個人蔵
65	松枝哲哉	久留米絣着尺「たんぼぼ」	2004	久留米絣技術保存会所蔵
66	松枝哲哉	久留米絣着尺「椿」	2009	久留米絣技術保存会所蔵
67 前	松枝哲哉	久留米絣着物「緑市松」	2004	個人所蔵
68 後	松枝哲哉	久留米絣着物「有明」	2001 第36回西部伝統工芸展	個人所蔵
69	松枝哲哉	久留米絣着尺「光韻」	2016	福岡県立美術館所蔵
70 後	松枝哲哉	久留米絣着尺「水光」	2010	久留米絣技術保存会所蔵
71 前	松枝哲哉	久留米絣着物「紫陽花」	2001 第48回日本伝統工芸展	九州国立博物館所蔵
72 後	松枝哲哉	久留米絣着物「筑後路・花火シリーズⅡ」	2020 第54回日本伝統工芸染織展	福岡県立美術館所蔵
73 前	松枝哲哉	久留米絣着物「無限」	2014 第48回日本伝統工芸染織展	個人所蔵

74 後	松枝哲哉	久留米絣着物「星斗」	2008 第42回日本伝統工芸染織展（日本経済新聞社賞）国立工芸館所蔵	
75 前	松枝哲哉	久留米絣着物「光韻」	2016 第63回日本伝統工芸展	個人所蔵
76 後	松枝哲哉	久留米絣着物「星のささやき」	2019	個人所蔵
77 後	松枝哲哉	久留米絣着物「光芒」	2020 第67回日本伝統工芸展（文部科学大臣賞）	文化庁所蔵
78 後	松枝哲哉	久留米絣着尺「聖夜」	1999	久留米絣技術保存会所蔵
79 後	松枝哲哉	久留米絣着尺「蘭更紗紋様」	1991	久留米絣技術保存会所蔵
80 後	松枝玉記	久留米絣着尺「かまくら」	1987	久留米絣技術保存会所蔵
81		松枝哲哉資料		個人所蔵

第4章 ともに藍に煌めいて－小夜子

82 前	松枝小夜子	久留米絣着物「青陽」	1989 第24回西部工芸展（金賞）	個人所蔵
83 後	松枝小夜子	久留米絣着物「月照心華」	1990 第15回全日本新人染織展（大賞）	個人所蔵
84 前	松枝小夜子	久留米絣着物「薫風」	2000 第35回西部伝統工芸展	個人所蔵
85 後	松枝小夜子	久留米絣着物「光の海」	1994 第31回日本伝統工芸染織展	個人所蔵
86 前	松枝小夜子	久留米絣着物「露の波」	2021 第55回西部伝統工芸展（朝日新聞社大賞）	（株）フジデンシ・ドットコム社所蔵
87 後	松枝小夜子	久留米絣着物「花輪」	2022 第56回日本伝統工芸染織展（日本経済新聞社賞）	個人所蔵
88 前	松枝小夜子	久留米絣着物「潮音」	2023 第57回日本伝統工芸染織展	個人所蔵
89 後	松枝小夜子	久留米絣着物「射光」	2023 第70回日本伝統工芸展	個人所蔵
90 前	松枝小夜子	久留米絣着物「風ノ光」	2022 第56回西部伝統工芸展	個人所蔵
91 後	松枝小夜子	久留米絣着物「波の蝶」	2024 第58回日本伝統工芸染織展	個人所蔵
92 前	松枝小夜子	久留米絣着尺「山あじさい」	2001	久留米絣技術保存会所蔵
93 後	松枝小夜子	久留米絣着尺「暁の旋律」	2013 第60回日本伝統工芸展	個人所蔵
94 前	松枝小夜子	久留米絣着尺「星月夜」	2018 第65回日本伝統工芸展	個人所蔵
95 前	松枝小夜子	久留米絣着尺「清韻」	2000	久留米絣技術保存会所蔵
96 後	松枝小夜子	久留米絣着尺「山路」	2010	久留米絣技術保存会所蔵
97 前	松枝小夜子	久留米絣着尺「桜川」	2005	久留米絣技術保存会所蔵

第5章 藍のひかりを未来へ－崇弘

98 前	松枝崇弘	絣織着物「青柳・かすれから絣への展開」	2021 第55回西部伝統工芸展	個人所蔵
99 後	松枝崇弘	久留米絣着物「川音」	2024 第58回日本伝統工芸染織展	個人所蔵
100 前	松枝崇弘	久留米絣着物「森の光・雨音」	2021 第68回日本伝統工芸展（日本工芸会奨励賞）	個人所蔵
101 後	松枝崇弘	久留米絣着物「春めく」	2022 第56回日本伝統工芸染織展	個人所蔵
102 前	松枝崇弘	久留米絣着物「飛翔」	2023 第70回日本伝統工芸展	個人所蔵
103 後	松枝崇弘	久留米絣着物「光の系譜」	2022 第69回日本伝統工芸展	個人所蔵
104 前	松枝崇弘	久留米絣着物「灯籠」	2024 第58回西部伝統工芸展	個人所蔵
105	松枝玉記	タペストリー		個人所蔵

※展示の順序は、作品番号の順番とは異なります。 ※作品リストに掲載のない資料もございます。 ※展示の都合上、20番は欠番となっていますのでご了承ください。

重なり合う、まなざし。

中村研一と中村琢二展

◆会 期：令和6年12月21日（土）～令和7年2月2日（日） 31日間

◆休 館：月曜日（ただし、1/13（月・祝）は開館、翌14日（火）は休館、年末年始（12/28～1/4）は休館）

◆会 場：4階展示室

◆入場料：一般500（350）円、高大生200（140）円、小中生100（80）円

＊65歳以上の方は350円

＊（ ）内は20名以上の団体割引料金

＊以下の方々を無料とした。

身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方及びその介護者、教職員が引率する小・中・高等学校・中等教育学校・特別支援学校の児童生徒及びその引率者、土曜日来場の高校生以下の方

◆主 催：福岡県立美術館

◆特別協力：中村研一・琢二生家美術館、占部建設株式会社、タワー不動産株式会社

◆協 力：宗像市

◆入場者数：2,868人

◆展覧会概要：

本展は、日本の洋画に大きな足跡を残した宗像出身の兄弟画家、中村研一（1895-1967）と中村琢二（1897-1988）の久しぶりの二人展として開催し、近年発見された中村研一の滞欧期の初公開作品を中心に、宗像市や古賀市の個人コレクターが長きにわたって収集してきた作品にもスポットを当て、彼らの画業の魅力に迫った。

正確なデッサンと線に基づき、光と影のコントラストを明確に表現することにたけた研一に対して、透明感のあるみずみずしい色彩で柔らかな描写を魅了する琢二というように、作風には大きな違いがあることから、二人の画業は対照的に語られてきたが、互いに影響し合い、重なり合う部分にも思いをめぐらせてほしいという願いを込めて、「重なり合う、まなざし。」というコピーを選んだ。

本展では、画家を志していた最初期の作品から始まり、修業時代の作品や大切な家族を描いた作品、思い出の場所の風景画など、研一と琢二の作品40点ずつを、「第1章 絵描きを志して」「第2章 大切な人々、身近な風景」「第3章 光と影、線と形を求めて」「第4章 色彩の遊び」「第5章 描くことの幸福」の5章に分けて展示したが、描くことの幸せが伝わる二人の温かく優しい作品が多くの方々に感動を与え、満足度が非常に高い展覧会となった。

◆関連事業：

・担当学芸員によるギャラリートーク

①令和6年12月21日（土）14:00～

②令和7年 1月25日（土）14:00～

③令和7年 2月 1日（土）14:00～ 参加者計：100名

◆作成印刷物等

・図録（B5、80ページ） ※中村研一・琢二生家美術館発行

図録には関連写真や略年譜、作品リストのほか、下記のエッセイを収載：中村嘉彦（中村研一・琢

二生家美術館館長)「中村研一・琢二生家美術館の成り立ちについて」、占部康行(占部建設株式会社代表取締役会長)「中村研一・琢二の作品との出会いと私」、長崎浩一(タワー不動産株式会社代表取締役社長)「「中村研一と中村琢二展」によせて」、高山百合(福岡県立美術館学芸課副長)「中村研一と中村琢二 重なり合うまなざし」

- ・ B 2 ポスター、A 4 両面チラシ、当日券、招待券、ポストカード
- ・ 正面玄関サイン、館内看板(タペストリー) 1 種、会場内パネル

◆記事・報道等

- ・ 渡辺亮一「響き合う兄弟の芸術世界 中村研一と中村琢二展」
『毎日新聞』2025 年 1 月 17 日 朝刊
- ・ 高山百合「新聞美術館～県美コレクションより 中村研一「サイゴンの夢」」
『西日本新聞』2022 年 12 月 19 日 朝刊
- ・ 西本匡伸「新聞美術館～県美コレクションより 中村琢二「少女」」
『西日本新聞』2023 年 6 月 25 日 朝刊
- ・ 高山百合「新聞美術館～県美コレクションより 中村研一「四阪風景」」
『西日本新聞』2025 年 1 月 12 日 朝刊
- ・ 高山百合「新聞美術館～県美コレクションより 中村琢二「黄衣」」
『西日本新聞』2025 年 1 月 26 日 朝刊
- ・ 天神経済新聞への記事掲載(ウェブサイト、2025 年 1 月 7 日)

中村研一と 中村琢二展

2024年12月21日(土)～2025年2月2日(日)
福岡県立美術館

番号	作者	作品名	制作年	技法・素材	サイズ	所蔵
K-1	中村研一	サイゴンの夢	1947年	油彩・画布	99.0×79.2cm	福岡県立美術館蔵
T-1	中村琢二	小犬と女	1968年	油彩・画布	130.3×97.0cm	福岡県立美術館蔵

第1章 絵描きを志して

K-2	中村研一	四阪風景	1911年	水彩・紙	32.9×24.2cm	福岡県立美術館蔵
K-3	中村研一	風景	1911年	水彩・紙	32.9×24.2cm	福岡県立美術館蔵
K-4	中村研一	風景	1913年	水彩・紙	17.0×25.7cm	福岡県立美術館蔵
K-5	中村研一	吉田トキ氏の肖像	1920年	油彩・画布	75.0×56.0cm	個人蔵(福岡県立美術館寄託)
K-6	中村研一	婦人像	1922年	油彩・画布	41.8×31.8cm	タワー不動産株式会社蔵
K-7	中村研一	箕面山	1922年頃か	油彩・画布	60.8×50.1cm	個人蔵(中村研一・琢二生家美術館寄託)
K-8	中村研一	小さき魚つり	1926年	油彩・画布	90.7×72.5cm	個人蔵(中村研一・琢二生家美術館寄託)
K-9	中村研一	風景	1926年	油彩・画布	50.2×60.7cm	個人蔵(中村研一・琢二生家美術館寄託)
K-10	中村研一	静物	1927年	油彩・画布	80.2×64.7cm	個人蔵(中村研一・琢二生家美術館寄託)
K-11	中村研一	婦人像	1930～35年頃	油彩・画布	61.0×52.0cm	占部建設株式会社蔵
K-12	中村研一	婦人像	1936年	油彩・画布	33.5×24.2cm	タワー不動産株式会社蔵
T-2	中村琢二	ススキ	1914年頃か	油彩・板	16.0×22.8cm	個人蔵(中村研一・琢二生家美術館寄託)
T-3	中村琢二	研一のベッド	1922年	油彩・画布	45.6×38.3cm	宗像市蔵
T-4	中村琢二	蔵王の秋	1940年頃か	油彩・画布	32.0×41.5cm	個人蔵(中村研一・琢二生家美術館寄託)
T-5	中村琢二	黄色いうちは持つ婦人像	1943年	油彩・画布	91.0×73.0cm	福岡県立美術館蔵
T-6	中村琢二	菊	1949年	油彩・板	33.2×24.0cm	個人蔵(中村研一・琢二生家美術館寄託)
T-7	中村琢二	婦人像	戦後期	油彩・画布	72.7×60.7cm	タワー不動産株式会社蔵
参考	モーリス・アスラン	花	1925年	油彩・画布	81.0×65.0cm	タワー不動産株式会社蔵

第2章 大切な人々、身近な風景

K-13	中村研一	津屋崎渡海岸	1908年	水彩・紙	15.0×25.0cm	中村研一・琢二生家美術館蔵
K-14	中村研一	祖母トミの肖像	1931年	油彩・画布	90.9×72.1cm	中村研一・琢二生家美術館蔵
K-15	中村研一	御代島	戦前期	油彩・画布	50.6×61.0cm	中村研一・琢二生家美術館蔵
K-16	中村研一	朝の庭	戦後期	油彩・画布	65.5×53.5cm	占部建設株式会社蔵
K-17	中村研一	婦人像	制作年不詳	水彩・紙	38.7×25.6cm	タワー不動産株式会社蔵
K-18	中村研一	庭にて	1963年	油彩・画布	80.3×65.7cm	福岡県立美術館蔵
K-19	中村研一	猫	戦後期	クレパス、水彩・紙	25.7×18.0cm	タワー不動産株式会社蔵
T-8	中村琢二	城山風景	1914年頃か	油彩・板	24.2×33.3cm	個人蔵
T-9	中村琢二	鎌倉風景	1924年頃～1967年	油彩・板	16.0×22.5cm	中村研一・琢二生家美術館蔵
T-10	中村琢二	六甲の家より	1932年	油彩・画布	37.7×45.5cm	個人蔵(中村研一・琢二生家美術館寄託)
T-11	中村琢二	コートの子	1938年	油彩・画布	100.0×80.5cm	宗像市蔵
T-12	中村琢二	母と子	1939年	油彩・画布	162.0×130.5cm	宗像市蔵
T-13	中村琢二	四郎像	1939年	油彩・板	21.4×14.6cm	個人蔵(中村研一・琢二生家美術館寄託)
T-14	中村琢二	セロを弾く男	1950年	油彩・画布	91.3×73.0cm	個人蔵(中村研一・琢二生家美術館寄託)
T-15	中村琢二	セロを弾く男	1950年	油彩・画布	91.0×65.6cm	宗像市蔵

第3章 光と影、線と形を求めて

K-20	中村研一	花籠	1930年	油彩・画布	50.0×60.6cm	中村研一・琢二生家美術館蔵
K-21	中村研一	中村眞佐子像	1930年	リトグラフ・紙	34.2×25.2cm	福岡県立美術館蔵
K-22	中村研一	岡部タツ像	1938年	油彩・画布	52.5×45.5cm	福岡県立美術館蔵
K-23	中村研一	よせる波	1939年	油彩・画布	72.7×91.3cm	占部建設株式会社蔵
K-24	中村研一	「昭南」のエスキース	1942年	鉛筆、水彩・紙	31.0×48.0cm	占部建設株式会社蔵
K-25	中村研一	昭南	1943年	油彩・画布	60.7×72.5cm	占部建設株式会社蔵
K-26	中村研一	パンダ	戦後期	油彩・画布	38.3×45.6cm	個人蔵(中村研一・琢二生家美術館寄託)
K-27	中村研一	裸体	1952年	油彩・画布	144.4×95.8cm	福岡県立美術館蔵
T-16	中村琢二	台所静物	1952年	油彩・画布	72.7×61.0cm	宗像市蔵
T-17	中村琢二	田圃	1956年	油彩・画布	91.3×65.5cm	宗像市蔵
T-18	中村琢二	少女	1962年	油彩・画布	116.0×81.0cm	福岡県立美術館蔵
T-19	中村琢二	婦人像	戦後期	油彩・画布	53.0×45.5cm	福岡県立美術館蔵

第4章 色彩の遊び

K-28	中村研一	庭の静物	1960年	油彩・画布	91.1×115.5cm	占部建設株式会社蔵
K-29	中村研一	花	1960年	油彩・画布	45.7×38.0cm	占部建設株式会社蔵
K-30	中村研一	チューリップとミモザ	戦後期	油彩・画布	41.0×32.1cm	タワー不動産株式会社蔵
K-31	中村研一	バラ	戦後期	油彩・画布	60.5×50.3cm	タワー不動産株式会社蔵
T-20	中村琢二	婦人像	戦前期	油彩・画布	116.7×90.9cm	福岡県立美術館蔵
T-21	中村琢二	舞妓	1954年	油彩・画布	91.0×65.3cm	宗像市蔵
T-22	中村琢二	夏の少女	戦後期	油彩・画布	117.0×80.5cm	宗像市蔵
T-23	中村琢二	首飾	1954年	油彩・画布	90.9×65.2cm	宗像市蔵
T-24	中村琢二	黄衣	1955年	油彩・画布	90.9×72.7cm	福岡県立美術館蔵
T-25	中村琢二	三千院の紅葉	1957年	油彩・画布	45.5×53.0cm	福岡県立美術館蔵
T-26	中村琢二	箕面の滝	1974年	油彩・画布	45.2×53.0cm	福岡県立美術館蔵

第5章 描くことの幸福

K-32	中村研一	花	1947年	油彩・画布	40.6×32.2cm	中村研一・琢二生家美術館蔵
K-33	中村研一	桃	1947年	油彩・画布	50.4×60.8cm	タワー不動産株式会社蔵
K-34	中村研一	長崎港	1950年	油彩・画布	73.0×91.0cm	タワー不動産株式会社蔵
K-35	中村研一	白い花	1954年	油彩・画布	65.6×80.5cm	タワー不動産株式会社蔵
K-36	中村研一	室内	戦後期	油彩・板	27.1×20.9cm	個人蔵(中村研一・琢二生家美術館寄託)
K-37	中村研一	花	戦後期	油彩・画布	45.8×38.0cm	中村研一・琢二生家美術館蔵
K-38	中村研一	まりも	戦後期	油彩・画布	53.0×45.0cm	タワー不動産株式会社蔵
K-39	中村研一	雑賀崎	戦後期	油彩・画布	36.5×44.2cm	タワー不動産株式会社蔵
K-40	中村研一	港の見える風景	1960年	油彩・画布	73.0×90.7cm	占部建設株式会社蔵
T-27	中村琢二	瀬戸内の女	1957年	油彩・画布	90.9×72.7cm	宗像市蔵
T-28	中村琢二	仔犬と女	1958年	油彩・画布	90.9×65.2cm	タワー不動産株式会社蔵
T-29	中村琢二	東北の温泉	1961年	油彩・画布	116.7×90.9cm	宗像市蔵
T-30	中村琢二	ソウルの丘	1970年	油彩・画布	90.9×116.7cm	福岡県立美術館蔵
T-31	中村琢二	波勝崎	1973年	油彩・画布	45.5×53.0cm	福岡県立美術館蔵
T-32	中村琢二	仙丈岳を望む	1975年	油彩・画布	37.9×45.5cm	福岡県立美術館蔵
T-33	中村琢二	木曾の御嶽	1976年	油彩・画布	37.9×45.5cm	福岡県立美術館蔵
T-34	中村琢二	冬の小網代	1987年	油彩・画布	31.8×40.9cm	福岡県立美術館蔵
T-35	中村琢二	富士川の富士	戦後期	油彩・画布	38.3×45.8cm	中村研一・琢二生家美術館蔵
T-36	中村琢二	唐招提寺	戦後期	油彩・画布	30.5×39.3cm	個人蔵(中村研一・琢二生家美術館寄託)
T-37	中村琢二	薬師寺の春	戦後期	油彩・画布	45.3×53.3cm	福岡県立美術館蔵
T-38	中村琢二	木曾の秋	戦後期	油彩・画布	38.0×45.0cm	福岡県立美術館蔵
T-39	中村琢二	養掛岩(石廊崎)	戦後期	油彩・画布	38.2×45.5cm	タワー不動産株式会社蔵
T-40	中村琢二	西伊豆	1987年	油彩・画布	58.7×115.5cm	福岡県立美術館蔵

「鹿児島睦 まいにち」展

- ◆ 主 催 「鹿児島睦 まいにち」展福岡会場実行委員会
(福岡県立美術館、九州朝日放送、西日本新聞社、西日本新聞イベントサービス)
- ◆ 後 援 福岡県、福岡市
- ◆ 特別協力 太宰府天満宮
- ◆ 協 力 久原本家グループ、西日本鉄道、積水ハウス 福岡マンション事業部、岩田屋三越
- ◆ 企画制作 西日本新聞イベントサービス、ブルーシープ
- ◆ 会 期 令和6年4月24日(水)～6月23日(日) 54日間
月曜休館
午前10時～午後6時(入場は午後5時30分まで)
- ◆ 会 場 3階展示室1～3号室
- ◆ 入 場 料 一 般 1,600円 (1,400円)
高大生 1,000円 (800円)
小中生 600円 (400円)
※ 上記()内は前売料金
※ 小学生以下保護者同伴必要
※ 未就学児無料
※ 身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方とその介護者1名、特定疾患医療受給者証・特定医療費(指定難病)受給者証の交付を受けている方は無料
- ◆ 入場者数 15,003人
- ◆ 開催趣旨
陶芸作品を中心にテキスタイル、版画など多彩な仕事で注目を集める鹿児島睦が地元福岡で開催する初の大規模展覧会。会場は、「あさごはん」「ひるごはん」「ばんごはん」の大きなテーブルに、動物や植物を豊かな色で愛らしく描いた約200点の器が並ぶ。福岡県の工芸やデザインを牽引していく作家の一人であることを広く県民に紹介する内容とした。
- ◆ イベント等
 - 内覧会・ライブペインティング
 - ① 日 時：令和6年4月23日(火)14:00～
 - ② 会 場：福岡県立美術館 3階ロビー
 - ③ 参加者：計65名(マスコミ、関係者)
 - アクロス・ミュージックキャラバン in 県美
 - ① 日 時：令和6年5月26日(日)第1部13:30～14:00、第2部：15:00～15:30
 - ② 会 場：福岡県立美術館 2階ロビー
 - ③ 演 者：〈ヴァイオリン〉小牧 麻唯果、〈ピアノ〉田中 芹奈
 - ④ 参加費：無料(申込不要)
 - ⑤ 参加者：計142名

●鹿児島睦が聞く『太宰府天満宮とアート』の話

- ① 日 時：令和6年6月1日（土）13:30～15:00
- ② 場 所：太宰府天満宮 文書館
- ③ 登壇者：鹿児島 睦、太宰府天満宮 宮司 西高辻 信宏氏、
太宰府天満宮文化研究所 学芸員 アンダーソン 依里氏
- ④ モデレーター：デザインジャーナリスト 高橋 美礼氏
- ⑤ 参加費：無料（要申込・抽選）
- ⑥ 参加者：60 名

●鹿児島睦が聞く『もっと知りたい志賀海神社』

- ① 日 時：令和6年6月2日（日）14:00～（13:30 受付開始）
- ② 会 場：福岡県立美術館 視聴覚室
- ③ 登壇者：鹿児島 睦、志賀海神社 宮司 阿曇 幸興氏
- ④ コーディネータ：デザインジャーナリスト 高橋 美礼氏
- ⑤ 参加費：無料（要申込・抽選）
- ⑥ 参加者：50 名

●鹿児島睦氏によるギャラリートーク

- ① 日 時：令和6年6月18日（火）10:30～
- ② 会 場：福岡県立美術館 3階展示室
- ③ 参加費：無料（申込不要、要入場券）
- ④ 参加者：95 名

●鹿児島睦氏と高木崇雄氏によるギャラリートーク

- ① 日 時：令和6年6月18日（火）13:30～
- ② 会 場：福岡県立美術館 3階展示室
- ③ 参加費：無料（申込不要、要入場券）
- ④ 参加者：84 名

● その他

- ① 鈴懸〇餅先着プレゼント
物販会場でお買上げの方先着 100 名に焼き印入り鈴懸〇餅をプレゼント（開幕 3 日間計 300 名）
- ② bills 福岡×「鹿児島 睦 まいにち展」鹿児島睦が愛する bills の朝食「まいにち展コース」
bills 福岡にて 5 月 8 日（水）～5 月 31 日（金）の期間中に朝食付き特別チケット購入の方に「まいにち展コース」を提供

◆主要広報実績

- ・西日本新聞特集記事
- ・西日本新聞紙面広告
- ・KBCテレビスポット
- ・KBC「Catch」特集
- ・KBC「アサデス。7」特集
- ・KBC「シリタカ」生中継
- ・KBC「Wish+」特集
- ・NHK「ロクいち福岡」
- ・KBCラジオ「サトコノヘヤ」
- ・KBCラジオ「PA0～N」

第79回福岡県美術展覧会（県展）

◆主催 福岡県美術展覧会実行委員会（福岡県立美術館、公益社団法人福岡県美術協会、西日本新聞社）

◆後援 福岡市、福岡市教育委員会ほか

◆協賛 株式会社岩田屋三越、ASOポップカルチャー専門学校、久原本家グループほか

◆会場・会期

県展（福岡県立美術館） 令和6年9月3日（火）～9月29日（日） 24日間

<巡回展>

筑後展（大牟田文化会館） 10月 6日（日）～10月12日（土） 6日間

筑豊展（嘉麻市立織田廣喜美術館） 10月16日（水）～11月 3日（日・祝） 15日間

宗像展（宗像ユリックス） 11月 6日（水）～11月16日（土） 10日間

北九州展（北九州市立美術館） 11月20日（水）～11月24日（日） 5日間

◆入場料：一般 400円

（県展） 高大生 200円

小中生 無料

◆入場者数：7,529人（県展）、3,603人（巡回展）

◆開催趣旨

県民から広く作品を募集し、その優れた成果を展示することで、創造意欲を高め、美術を通じた豊かな生き方を支援する。あわせて、福岡県美術協会会員の作品を展示し、福岡県における美術活動のより一層の充実を目指す。

◆審査員

日本画／岡村 桂三郎、印藤 勝代、城戸 久美子、塩先 晋照、森田 秀樹

洋画／坂口 寛敏、宇美 拓哉、瀧井 利子、久富 菜穂子、光行 洋子

彫刻／林 武史、片山 博詞、世良 伸幸、津田 三朗、宮脇 俊幸

工芸／外館 和子、猪熊 兼樹、石田 哲志、井上 菊、鹿谷 敏文、松枝 小夜子

書／山元 宣宏、太田 文子、古 浩興、師村 華香、鈴木 久美子、橘 魁州、三木 清雲、

宮崎 悠雲、矢野 菜山

写真／安珠（Anju）、高良 慶治、永友 義夫、森山 峰熙、八尋 聡

デザイン／福島 治、阿比留 潔、磯脇 みつこ、湯浅 亮子、横山 淳平

◆図録

A4版80頁

<内容> 図版

出品目録（公募の部、会員の部）

選後感

出品数・入選数一覧（公募の部）

◆関連事業

<合評会>

県展各会期最終日に、県美術協会審査員による部門ごとの合評会を実施。

<表彰式>

9月29日（日）福岡リーセントホテル 2階レインボーホール

◆関連記事

<入選・入賞掲載記事>

西日本新聞、毎日新聞

<県展開幕>

西日本新聞社

◆事業の概要

県展会期：令和6年9月3日（火）～9月29日（日）〔24日間〕

会 期	開 催 期 間	部 門	入 場 者 数		
			総 数	有 料	無 料
1 期	9月 3日～ 9月 8日	彫刻・写真	1,769	617	1,152
2 期	9月10日～ 9月16日	日本画・工芸・デザイン	1,685	850	835
3 期	9月18日～ 9月23日	洋画	2,064	968	1,096
4 期	9月25日～ 9月29日	書	2,011	679	1,332
合 計			7,529	3,114	4,415

県展出品数・展示数

公 募 の 部			
部 門	出 品 数	出品者数	展 示 数
日 本 画	77	74	56
洋 画	439	342	213
彫 刻	40	37	26
工 芸	140	121	97
書	漢 字	-	305
	か な	-	142
	て ん 刻	-	33
	調 和 体	-	41
	小 計	766	521
写 真		448	274
デ ザ イン		227	120
合 計		2,015	1,307

会 員 の 部
出 品 数
40
157
32
51
194
74
19
567

生誕 100 年 山下清展 一百年目の大回想

- ◆ 主 催 「生誕 100 年 山下清展 一百年目の大回想」福岡会場実行委員会
(福岡県立美術館、毎日新聞社、RKB毎日放送)
- ◆ 後 援 福岡県、福岡市、福岡市教育委員会、(公財)福岡市文化芸術振興財団、
九州旅客鉄道株式会社、西日本鉄道株式会社
- ◆ 協 力 山下清作品管理事務所
- ◆ 企画協力 ステップ・イースト
- ◆ 会 期 令和 6 年 10 月 25 日 (金) ～ 12 月 22 日 (日) 51 日間
月曜休館 (ただし 11 月 4 日 (月) は開館、11 月 5 日 (火) は休館)
午前 10 時～午後 6 時 (入場は午後 5 時 30 分まで)
- ◆ 会 場 3 階展示室 1 ～ 4 号室
- ◆ 入 場 料 一 般 1,500 円 (1,300 円)
高大生 1,000 円 (800 円)
小中生 600 円 (400 円)
※ 上記 () 内は前売料金・20 名以上の団体料金
※ 身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方とその介護
者 1 名、特定疾患医療受給者証・特定医療費 (指定難病) 受給者証の交付を受けている方
は無料
- ◆ 入場者数 36,198 人
- ◆ 開催趣旨
山下清は、放浪の天才画家として知らされており、懐かしい日本の原風景や名所を貼り絵で表し、多
くの人々の心を捉えてきた。
本展では、山下清の生誕 100 年を記念し、代表的な貼絵の作品に加えて、子供時代の鉛筆画や後年の
油彩、陶磁器、ペン画などを展示し、山下清の生涯と画業を紹介する内容とした。
- ◆ イベント等
 - 内覧会
 - ① 日 時：令和 6 年 10 月 24 日 (木) 14:00～16:00
 - ② 会 場：福岡県立美術館 3 階展示室
 - ③ 参加者：100 名 (マスコミ、招待者)
 - ギャラリートーク
 - ① 日 時：令和 6 年 10 月 25 日 (金) 10:30～
 - ② 会 場：福岡県立美術館 3 階展示室
 - ③ 解 説：山下 浩氏 (山下清の甥、山下清作品管理事務所代表)
 - ④ 参加費：無料 (申込不要、要入場券)
 - ⑤ 参加者：76 名

●講演会「家族が語る山下清」

- ① 日 時：令和6年10月25日（金）14：00～
- ② 会 場：福岡県立美術館 視聴覚室
- ③ 講 師：山下 浩氏（山下清の甥、山下清作品管理事務所代表）
- ④ 参加費：無料（要申込、要入場券）
- ⑤ 参加者：58名

●ワークショップ「マステで貼り絵！缶バッジ作り」

- ① 日 時：令和6年11月9日（土）受付時間：10：00～11：30、13：30～15：00
- ② 会 場：福岡県立美術館 3階フロア
- ③ 参加費：100円（要入場券）
- ④ 参加者：89名

●アクロス 30th Go Round コンサート in 県美

- ① 日 時：令和6年12月1日（日）第1部：13：30～14：00、第2部：15：00～15：30
- ② 会 場：福岡県立美術館 2階ロビー
- ③ 演 者：〈チェロ〉宇野 健太、〈ピアノ〉古賀 美代子
- ④ 参加費：無料（申込不要）
- ⑤ 参加者：計195名

●入場2万人、3万人達成セレモニー

- ① 日 時：[2万人] 令和6年12月3日（火）13：00～
[3万人] 令和6年12月17日（火）13：15～
- ② 内 容：該当者に展覧会図録及びグッズを進呈

● その他

- 1 山下清展×純烈コラボポストカードプレゼント
入場者先着30,000名に福岡会場応援隊長の純烈と山下清作品のコラボポストカードをプレゼント
- 2 「清」割（来館者2万人突破記念イベント）
 - ① 期 間：令和6年12月4日（水）～12月8日（日）
 - ② 対 象：氏名に「清」が含まれる来場者
 - ③ 内 容：入場料を200円割引
 - ④ 参加者：19名

◆主要広報実績

- ・毎日新聞特集記事
- ・毎日新聞紙面広告
- ・RKBテレビスポット
- ・RKBラジオCM
- ・RKBタタニュース
- ・RKB「タダイマ！」純烈メンバー展覧会告知
- ・RKB「よんなび」
- ・RKB番組内天気予報フィラー

令和6年度福岡県立美術館所蔵品巡回展

芸術の海へ飛び出そう 3館をめぐる芦屋アートの旅

◆会 期：令和7年2月22日（土）～3月16日（日） 21日間

◆休 館：3月3日（月）、3月10日（月）

◆会 場：芦屋釜の里、芦屋歴史の里（歴史民俗資料館）、ギャラリーあしや

◆入場料：芦屋釜の里 一般 300 円

芦屋歴史の里（歴史民俗資料館） 一般 200 円

ギャラリーあしや 一般 無料

*高校生以下、身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方及びその介助者は無料

◆主 催：令和6年度福岡県立美術館所蔵品巡回展「移動美術館展」実行委員会
（芦屋町、芦屋町教育委員会、福岡県立美術館）

◆共 催：公益財団法人福岡県教育文化奨学財団

◆入場者数：2,483 人

◆展覧会概要：

平成7年度に開館10周年を記念し、所蔵品巡回展「移動美術館展」を開催して以降、県立美術館が長年収集してきた美術作品の中から福岡県にゆかりの深い近現代の洋画、日本画、工芸、彫刻の作品を県下各地で紹介してきた。平成18年度からは、趣旨を新たに「ファーストステップとしての美術館」と設定し、従来の名品紹介に加え、子どもたちにも親しみやすい展覧会づくりを実現してきた。

令和6年度は芦屋釜の里のリニューアルオープンを記念して、芦屋釜の里、芦屋歴史の里（歴史民俗資料館）、ギャラリーあしやの3館で開催した。芦屋町で初の開催となった今回は、芦屋釜の里では茶道具の名品や鍍金作品、日本画、ギャラリーあしやでは近代洋画といったように、それぞれの施設を活かしながら84点の作品を展示し、サブタイトルに「3館をめぐる芦屋アートの旅」を掲げたように、普段美術館を訪れたことのない層にも親しみやすい展覧会づくりに取り組んだ。

ギャラリートークや展覧会開催記念特別呈茶、スタンプラリーのほか、春の開催に相応しく、ひなまつり煎茶会などのイベントを開催し、近隣地域からも数多くの人々に来場いただくことができた。

◆関連事業

（1）[遠賀郡内小学校・中学校教員対象]

「移動美術館展」を活用した鑑賞教育入門講座

日時：令和7年2月21日（金） 15:00～16:30 参加者：16名

講師：高橋大輔（福岡県立美術館指導主事）、高山百合（福岡県立美術館学芸課副長）

（2）ギャラリートーク

日時：令和7年2月23日（日・祝）

芦屋釜の里 10:30～ 参加者：10名／芦屋歴史の里 13:00～ 参加者：26名

日時：令和7年3月2日（日）

ギャラリーあしや 10:30～ 参加者：12名

(3) 移動美術館展開催記念呈茶

日時：令和7年2月22日（土）参加者：43名

令和7年2月23日（日）参加者：66名

(4) ひなまつり煎茶会

日時：令和7年3月2日（日）参加者：125名

(5) 鋳物講座

日時：令和7年3月8日（土）参加者：16名

(6) 移動美術館展3館を巡るスタンプラリー

期間：令和7年2月22日（土）～3月16日（日）参加者計：202名

◆作成印刷物：

- ・B2ポスター、A4両面チラシ、チケット、「移動美術館展3館めぐるスタンプラリー」用紙

◆記事・報道等

- ・ホームページへの掲載（芦屋町、芦屋釜の里、歴史民俗資料館、福岡県立美術館）
- ・Instagram 配信（芦屋町、芦屋釜の里、福岡県立美術館）
- ・広報あしやへのチラシの折込み
- ・折込求人情報誌パコラ等への広告掲載

貸館事業

県内の美術家や美術団体などに、作品発表の場として、展示室（１～４）、彫刻展示室、視聴覚室の使用を許可。詳細は令和６年度展示施設（貸館等）使用状況及び令和６年度展示施設使用者一覧のとおり。

- ◆受付期間： ４月末まで ……その年度の後半（１０月～翌年３月）
 １０月末まで ……次の年度の前半（翌年４月～９月）

- ◆使用料：（展示開始の日から展示終了の日まで１日につき）

展示室	面積	無料展	有料展
展示室１	298㎡	7,310円	11,030円
展示室２	198㎡	4,960円	7,440円
展示室３	189㎡	4,710円	7,060円
展示室４	131㎡	3,090円	4,710円
彫刻展示室	147㎡	3,710円	5,580円
視聴覚室	87㎡（50席）	午前９時～１２時	3,710円
		午後１時～６時	6,200円

※貸館は原則として１週間単位。（６日間）

◆利用方法

○申込み

所定の様式にて、普及課へ申請。

○貸館の決定

４月までの申込分は５月中・下旬に、１０月までの申込分は１１月中・下旬に通知。

○使用料納付

展示室等利用の２週間前までに納付書を送付。納期限までに納入。

○展示作業

- ・使用許可証に記載してある時間帯で実施。（９時～１７時）
- ・係員の指示に従い展示。

○展示期間中

- ・受付の配置。（９時５０分から１８時まで）
- ・１０時に開室し１８時に閉室。
- ・花輪・生花等の飾りは原則として認めない。
- ・日毎の入場者数を記録、問題点は普及課へ連絡。
- ・主催者控室を利用の場合は、監視室にて鍵の受け渡しを行う。

○撤去作業

- ・使用許可証に記載してある時間帯で実施。（１８時～２０時）
- ・展覧会開始日の３週間前までに「搬出撤去に係る閉室時間繰り上げ申請書」を提出することにより、通常１８時の搬出撤去日の閉室時間を１５時まで繰り上げ可能。
- ・係員の指示に従い撤去。使用した用具を返却。
- ・終了時、係員の点検を受けた後、報告書を提出。

◆展示室の使用許可基準（令和6年3月14日〔原則〕、〔許可の条件〕一部改訂）

〔原則〕

- （１） 当館が主催、あるいは共催する展覧会を優先する。
- （２） 当館が主催展、あるいは共催展の実施に支障のない範囲で、展示室の使用を許可する。
- （３） 展覧会の内容が次の各号のいずれかに該当する場合、展示室の使用を許可しない。
 - ①法令に違反するもの又はそのおそれのあるもの
 - ②公序良俗に反するもの又はそのおそれのあるもの
 - ③人権侵害となるもの又はそのおそれのあるもの
 - ④その他内容について選考委員会が不適切であると判断するもの

〔許可の条件〕

- （１） 使用料は別途発行する納入通知により展示室等使用前に納入すること。
- （２） 搬入・展示・搬出の際は、使用許可証に記載している時間を遵守すること。
- （３） 搬出撤去作業は20時までに終了すること（時間厳守）。なお、展覧会開始日の3週間前までに「搬出撤去に係る閉室時間繰り上げ申請書」を提出することにより、通常18時の搬出撤去日の閉室時間を15時まで繰り上げることができること。この場合、他の来館者の迷惑とならないよう館職員の指示に従い、搬出撤去作業には万全の注意を払うこと。
- （４） 閉室時間を繰り上げる場合の周知、説明は主催者の責により行うこととし、繰り上げに伴う使用料の返金を行わないこと。
- （５） 使用者が、その責に帰す理由により使用物件、そのほか財産の全部または一部を滅失または損傷したときは、損害を賠償するものとする。ただし、現状に回復した場合はこの限りではない。
- （６） 出陳作品の保管、監視等管理上の責は使用者が負うものとする。
- （７） 上記（１）～（６）及び第1項を遵守できない場合若しくはその他展示室の使用に際して当館職員の指示に従わない場合は、その後の展示室使用については認めず、その場合、（１）の使用料は返金しないこと。

令和6年度展示施設(貸館等)使用状況

利用団体等	延べ開催日数(日)	入場者数(名)
入場有料の場合(有料展) 2団体	12	691
入場無料の場合(無料展) 52団体	319	36,257
計 54団体	331	36,948

令和6年度展示施設使用者一覧

No	展覧会名称	主 催 者	期 間	展示室	内 容	入場料	入場者数
1	書美院創立35周年記念作品展	株式会社 書美院	4/2～4/7	彫、1～4	書	無料	1,181
2	第20回あとえ展	あとえ	4/9～4/14	彫	油彩、水彩、パステル、色鉛筆	無料	518
3	第36回蘭亭書道展	朝日カルチャーセンター、朝日新聞社、九州朝日放送	4/9～4/14	1～4	書	無料	1,186
4	写真家 川口清志 水彩画家 稲田政博 二人展	稲田、川口 清志	4/23～4/29	彫	写真、絵画	無料	430
5	ヨーロッパ紀行(ドイツ、スイス)	中川 三四郎	5/1～5/6	彫	油彩	無料	471
6	Ichimaru Family Here we go! At the SuzAki Park	市丸家家族一同5名	5/8～5/12	彫	写真、イラスト	無料	184
7	九友会絵画展	九友会絵画展	5/14～5/19	彫	日本画、水彩画、油彩画、版画等	無料	638
8	ARS写真クラブ作品展「雑記帳」～それぞれの視線で～	ARS写真クラブ	5/21～5/26	彫	写真	無料	439
9	専門学校福岡ビジュアルアーツ・アカデミー写真学科進級制作展	専門学校福岡ビジュアルアーツ・アカデミー写真学科	5/28～6/2	彫	写真	無料	415
10	チョークアートグループ展 vol.12	グラフィティ・ファクトリー・チョークアートデザインズ	6/11～6/16	彫	チョークアート	無料	720
11	第25回木曜会作品展	西日本写真協会福岡支部 木曜会	6/18～6/23	彫	写真	無料	612
12	第45回西日本版画協会展	西日本版画協会	6/25～6/30	彫	版画	無料	372
13	Toru Terashima Exhibition after 23years	寺島徹	7/2～7/7	彫	絵画	無料	325
14	第52回「日本の書展」九州展	公益財団法人 全国書美術振興会 名義共催:西日本新聞社	7/2～7/7	1～4	書	無料	1,033
15	第48回毎日女流書展	毎日新聞社、西部毎日書道会	7/9～7/15	彫、1～4	書	無料	992
16	Smile Jamaica	Smile Jamaica実行委員会	7/17～7/21	彫	写真	有料	538
17	くばらだんだんアートの世界展2024	株式会社久原本家グループ本社、一般社団法人だんだんボックス	7/17～7/21	1～2	絵画	無料	416
18	第39回高文連福岡地区書道展	福岡県高等学校芸術文化連盟福岡支部	7/17～7/21	3～4	書	無料	285
19	ふくおか県芸術文化祭2024 2024福岡県シニア美術展	福岡県、ふくおか県芸術文化祭実行委員会、公益社団法人福岡県美術協会	10/5～10/14	彫、1～4	絵画、彫刻、工芸等	無料	2,819
20	第4回福岡日展会作品展	福岡日展会	10/16～10/20	彫、1～4	絵画、彫刻、工芸等	無料	948
21	MOA美術館福岡児童作品展	MOA美術館福岡児童作品展実行委員会	10/22～10/27	彫	絵画・書写	無料	1,356
22	第29回 土筆書道会社中展	土筆書道会	11/6～11/10	彫	書	無料	506
23	第21回山善油彩個展 「70's up」	ATERIER ROCKSTOCK	11/12～11/17	彫	油彩、デッサン	無料	450
24	9人の作家によるRO展	Friends2	11/19～11/24	彫	絵画、写真、切り絵等	無料	607
25	第9回 一東書道会 福岡支局展	一東書道会 福岡支局	11/26～12/1	彫	書	無料	613
26	第53回 福岡市医師会文化祭美術展	一般社団法人 福岡市医師会	12/3～12/8	彫	絵画、写真、書、工芸	無料	913
27	九州産業大学芸術学部 写真・映像メディア学科 百瀬ゼミナール 写真展	九州産業大学芸術学部写真・映像メディア学科百瀬ゼミナール	12/10～12/15	彫	写真	無料	596
28	旧上庄小レジデンスプログラム2024 成果展	九州芸文館美術展実行委員会	12/17～12/27	彫	パネル、(作品)	無料	815
29	Toru Terashima Solo Exhibition "55"	寺島徹	1/7～1/13	彫	絵画	無料	433
30	2024 ふくおか県障がい児者美術展	ふくおか県芸術文化祭 福岡県実行委員会	1/7～1/13	1～2	絵画、書道、写真	無料	1,190
31	第16回 福岡市障がい児・者美術展 福岡コアサイドアート美術展2024	福岡市障がい児・者美術展実行委員会	1/7～1/13	3～4	絵画等	無料	672
32	九州産業大学付属九州高等学校 造形芸術科 第59期生卒業制作展・授業作品展	九州産業大学付属九州高等学校 造形芸術科	1/15～1/19	彫、1～4	絵画、彫刻、工芸、映像等	無料	861

No	展覧会名称	主 催 者	期 間	展示室	内 容	入場料	入場者数
33	福岡県高等学校芸術・文化連盟 福岡地区写真展	福岡県高等学校芸術・文化連盟写真専門部	1/21～1/26	1	写真	無料	406
34	第39回福岡市中学校美術部合同作品展	福岡市中学校美術教育研究会、福岡市教育委員会、福岡市中学校文化連盟	1/21～1/26	2～4	絵画	無料	736
35	福岡県立太宰府高等学校芸術科(美術・書道)第37回卒業制作展	福岡県立太宰府高等学校	1/28～2/2	彫、1～4	絵画、彫刻、工芸、書等	無料	1,364
36	カワイ絵画造形教室「ちいさなてがみそんだ」	(株)河合楽器製作所	2/4～2/9	彫	平面作品、立体作品	無料	433
37	学びの発表会2024	西日本短期大学 緑地環境学科	2/4～2/9	1～3	研究発表	無料	318
38	福大美術部OBグループ展	拓植 智	2/4～2/9	4	絵画	無料	271
39	第34回 福岡県中学校美術展	福岡県中学校美術教育研究会	2/11～2/16	彫、1～4	絵画、彫刻、工芸等	無料	2,604
40	第66回 福岡県医師会文化祭美術展	公益社団法人福岡県医師会	2/18～2/24	彫	絵画、写真、書等	無料	925
41	Kyushu Portrait Models Directory 写真展 2025	Kyushu Portrait Models Directory 写真展 実行委員会	2/18～2/24	1～2	写真	無料	782
42	セルゲイ草柳 作品展	セルゲイ草柳	2/18～2/24	3	写真	無料	578
43	写真展 Naked	Kyushu Portrait Models Directory 写真展 実行委員会	2/18～2/24	4	写真	有料	153
44	第5回福岡日展会作品展	福岡日展会	2/26～3/2	彫、1～4	絵画、彫刻、工芸等	無料	945
45	令和6年度 福岡教育大学書道科 書道専攻書作展	福岡教育大学 書道科	3/4～3/9	彫、4	書	無料	442
46	令和6年度 福岡教育大学卒業制作展(美術)・赤馬展	福岡教育大学	3/4～3/9	1	絵画、彫刻、工芸等	無料	573
47	福岡教育大学中等教育教員養成課程書道専攻 第二十三期卒業書作展	福岡教育大学中等教育教員養成課程書道専攻 第二十三期生	3/4～3/9	2～3	書	無料	483
48	九州カメラ部 写真展	九州カメラ部	3/11～3/16	彫	写真	無料	214
49	第56回九州かな書道協会展	九州かな書道協会	3/11～3/16	1～4	書	無料	608
50	日本習字姪浜書友会	姪浜書友会 大里 和子	3/18～3/23	彫	書	無料	334
51	1.(NPO法人)国際宋徽宗書画芸術研究院 第三回(2023～2025)書画展 2.九州日中水墨画研究会 二十八周年(1998～2025)記念展 3.中国中央美術学院1992年同窓会第三回(2023～2025)美術作品展	1.NPO法人国際宋徽宗書画芸術研究院 2.九州日中水墨画研究会 3.中国中央美術学院	3/18～3/23	1～3	書・書画	無料	349
52	柴山 光太郎作品展	柴山 光太郎	3/25～3/30	彫	絵画	無料	299
53	くばらだんだんアートの世界展2025	株式会社久原本家グループ本社、一般社団法人だんだんボックス	3/25～3/30	1～3	絵画	無料	398
54	Freestyle Photo Club 第7回 巡回展	Freestyle Photo Club 野田 益生	3/25～3/30	4	写真	無料	199
総 計							36,948

※令和6年度の展示室貸出期間は、令和6年4月2日～令和7年3月30日まで。

普及事業

◆美術館ニュース「とっぷらいと」の発行状況

号 数 (発行月)	主な掲載記事
第 128 号 (R6. 8)	・ 展覧会紹介 特集「久留米絣と松枝家」 ・ 続・福岡県美術家列伝「松枝玉記」 ・ コレクション通信「ふじたよし か れんちかふう 藤田吉香 《蓮池荷風》」 ・ コレクション展Ⅱ 「新聞美術館 2」と「小特集 久我五千男が集めた須恵焼」 ・ スケジュール
第 129 号 (R6. 11)	・ 展覧会紹介 特集「中村研一と中村琢二展 重なり合う、まなざし。」 ・ 「中村研一と中村琢二展」特集 「兄弟の生家で作品に浸る」 ・ コレクション通信「たかし まやじゅうろう らくす 高島野十郎 《絡子をかけたる自画像》」 ・ 展覧会紹介「生誕 100 年 山下清展—百年目の大回想」 ・ スケジュール
第 130 号 (R7. 2)	・ 令和 6 年度コレクション展 第Ⅲ期 「新聞美術館 3」と小特集「モノのかたち」 ・ コレクション通信「いりえ ひろ ごおくえん 入江比呂 《五億円》」 ・ 忘れ得ぬ出会い「丹陵と芳月 若き日の名画 2 点」 ・ レポート「大濠 START PROJECT（新福岡県立美術館整備事業）」 ・ スケジュール

◆美術教養講座

・ 特別講演会

「松枝家の久留米絣の魅力—グローバルな視点を交えて」

日時：令和 6 年 10 月 13 日(日) 14:00～15:00

講師：外館和子氏（多摩美術大学教授） 65 名参加（要予約）

・「久留米絣と松枝家展」レクチャー

「久留米絣と松枝家の「これまで」」

日時：令和 6 年 10 月 20 日(日) 14:00～15:00

講師：松枝小夜子氏、魚里洋一（新県立美術館建設室） 35 名参加（申込不要）

・「久留米絣と松枝家展」レクチャー

「久留米絣と松枝家の「これから」」

日時：令和 6 年 11 月 2 日(土) 14:00～15:00

講師：松枝崇弘氏、中島由実子（福岡県立美術館学芸員） 23 名参加（申込不要）

◆ 「令和6年度スケジュール」の発行状況

- 1 掲載内容
 - ・特別展、企画展の展覧会情報
 - ・コレクション展の展覧会情報
 - ・利用案内、交通案内等
- 2 発行部数
32,000部（日本語版26,000部、英語版6,000部）
- 3 主な送付先
全国美術館、全国博物館、県内大学、県内画廊、画材店、市町村教委、県立学校、
教育庁各課、教育庁出先、アクロス福岡、その他文化センター、近郊ホテル等

◆ ホームページコンテンツについて (<https://fukuoka-kenbi.jp/>)

- 1 コンテンツの種類
 - ・来館・利用案内
アクセス（交通案内）、利用案内、施設貸出
 - ・展覧会・イベント
展覧会、イベント、県展について、年間リーフレット
 - ・コレクション
コレクションについて、所蔵品検索、どこでもケンビ、野十郎通信、所蔵品200選
 - ・ケンビブログ
 - ・美術館について
福岡県立美術館について、年報、図録・グッズ等、新福岡県立美術館整備について
 - ・お知らせ・問合せ
お知らせ、博物館実習について、画像利用について、県内のミュージアム、
お問い合わせ

※『県内のミュージアム』では福岡県博物館協議会加盟館園を掲載
（『地震、そのとき博物館はー福岡県西方沖地震における県内博物館の被災に関する
報告書』のダウンロードによる紹介あり）

- 2 ホームページアクセス数
946,069件

◆スクール・ミュージアム事業（アートコース）

1 趣 旨

福岡県立美術館は、福岡県における美術活動の促進と県民の美術に関する知識と教養の向上に寄与する展覧会活動などを長年続けてきた。特に近年、地域社会における美術館の役割が注目され、それに伴い美術館と学校との連携もますます重要になってきている。図画工作科・美術科学習指導要領では、児童生徒や学校の実態に応じて地域の美術館などを利用したり、連携を図ったりするよう明示されており、美術館で行う鑑賞教育の積極的な実施が求められるようになってきている。

こうした現状を踏まえ、福岡県教育委員会が推進する学校支援事業の一環として、福岡県立美術館、福岡県青少年科学館、九州歴史資料館及び一般財団法人福岡県教職員互助会の四者で児童生徒の体験活動にかかる合同事業を行うことにより、情操教育、美術教育、科学教育、歴史教育の活性化及び地域文化の振興発展に寄与することを目的とし、スクール・ミュージアム事業を実施している。

福岡県立美術館で実施するスクール・ミュージアム事業（アートコース）では、児童生徒に美術館で本物の美術作品を直に鑑賞する機会を提供している。担当職員による展覧会の説明やワークシートを活用した鑑賞活動など様々なプログラムを通して、児童生徒の新たな見方や感じ方への気づきを導き、同時に文化施設利用のマナーについて自覚を高めることに貢献している。

2 主 催：福岡県立美術館、福岡県青少年科学館、九州歴史資料館、一般財団法人福岡県教職員互助会

3 実施期間：令和6年5月～令和7年2月

4 実施対象展覧会

- (1) コレクション展 第Ⅰ期「新聞美術館展1」と小特集「鹿児島寿蔵」
令和6年4月2日（火）～ 令和6年6月30日（日）
- (2) 「鹿児島陸 まいにち」展
令和6年4月24日（水）～ 令和6年6月23日（日）
- (3) コレクション展 第Ⅱ期「新聞美術館展2」と小特集「久我五千男が集めた須恵焼」
令和6年7月9日（火）～ 令和6年8月29日（木）
- (4) 第79回福岡県美術展覧会（県展）
令和6年9月3日（火）～ 令和6年9月29日（日）
- (5) 久留米絃と松枝家
令和6年10月12日（土）～ 令和6年12月1日（日）
- (6) 生誕100年 山下清展 一百年目の大回想
令和6年10月25日（金）～ 令和6年12月22日（日）
- (7) 中村研一と中村琢二
令和6年12月21日（土）～ 令和7年2月2日（日）
- (8) コレクション展 第Ⅲ期「新聞美術館展3」と小特集「モノのかたち」
令和7年2月18日（火）～ 令和7年4月13日（日）

5 対 象 校：県内の公立小・中・義務教育学校・高等学校、中等教育学校、特別支援学校

6 補助対象経費（主催者負担）

- ・実施対象展覧会の観覧料（児童生徒及び引率教員分）
- ・往復バス借上料及び有料道路使用料（実費相当額）（ただし、バス借上料は上限額あり。）
※往復の経路に体験活動を重視した他の社会教育施設等を含めることも可能
- ・学習プログラムの実施に係る材料費

7 実施校一覧

小学校

	学校名	学年	児童生徒数	引率数	実施日			館主催の展覧会	主な実施内容
1	小都市立石小学校	4	22	2	6月4日	火	午前	「鹿児島陸 まいにち」展、コレクション展Ⅰ	講義(鑑賞マナー、展覧会の概要/鑑賞のワンポイント)、ワークシートを活用した鑑賞活動
2	大川市立道海島小学校	5	15	2	6月19日	水	午前	「鹿児島陸 まいにち」展、コレクション展Ⅰ	講義(鑑賞マナー、展覧会の概要/鑑賞のワンポイント)、ワークシートを活用した鑑賞活動
3	久留米市立水縄小学校	6	24	2	7月10日	水	午前	コレクション展Ⅱ	講義(鑑賞マナー、展覧会の概要/鑑賞のワンポイント)、ワークシートを活用した鑑賞活動
4	大川市立宮前小学校	5	17	2	7月11日	木	午前	コレクション展Ⅱ	講義(鑑賞マナー、展覧会の概要/鑑賞のワンポイント)、ワークシートを活用した鑑賞活動
5	豊前市立宇島小学校	6	32	2	9月13日	金	午前	第79回福岡県美術展覧会(日本画・工芸・デザイン)	講義(鑑賞マナー、展覧会の概要/鑑賞のワンポイント)、ワークシートを活用した鑑賞活動、外部講師による説明
6	上毛町立友枝小学校	6	19	2	9月18日	水	午前	第79回福岡県美術展覧会(洋画)	講義(鑑賞マナー、展覧会の概要/鑑賞のワンポイント)、ワークシートを活用した鑑賞活動、外部講師による説明
7	筑紫野市立天拝小学校	4	52	4	9月26日	木	午前	第79回福岡県美術展覧会(書)	講義(鑑賞マナー、展覧会の概要/鑑賞のワンポイント)、ワークシートを活用した鑑賞活動、外部講師による説明
8	久留米市立竹野小学校	5	14	2	11月7日	木	午前	生誕100年 山下清展、久留米耕と松枝家	講義(鑑賞マナー、展覧会の概要/鑑賞のワンポイント)、ワークシートを活用した鑑賞活動
9	春日市立日の出小学校	4	39	3	11月8日	金	午前	生誕100年 山下清展、久留米耕と松枝家	講義(鑑賞マナー、展覧会の概要/鑑賞のワンポイント)、ワークシートを活用した鑑賞活動
10	みやこ町立諫山小学校	5・6	5	3	11月14日	木	午前	生誕100年 山下清展、久留米耕と松枝家	講義(鑑賞マナー、展覧会の概要/鑑賞のワンポイント)、ワークシートを活用した鑑賞活動
11	上毛町立西吉富小学校	6	24	3	11月15日	金	午前	生誕100年 山下清展、久留米耕と松枝家	講義(鑑賞マナー、展覧会の概要/鑑賞のワンポイント)、ワークシートを活用した鑑賞活動
12	春日市立春日野小学校	4	98	7	11月21日	木	午前・午後	生誕100年 山下清展、久留米耕と松枝家	講義(鑑賞マナー、展覧会の概要/鑑賞のワンポイント)、ワークシートを活用した鑑賞活動
13	福岡市立荻岐東小学校	5	15	2	11月29日	金	午前	生誕100年 山下清展、久留米耕と松枝家	講義(鑑賞マナー、展覧会の概要/鑑賞のワンポイント)、ワークシートを活用した鑑賞活動
14	うきは市立吉井小学校	4	31	4	12月6日	金	午前	生誕100年 山下清展	講義(鑑賞マナー、展覧会の概要/鑑賞のワンポイント)、ワークシートを活用した鑑賞活動
15	久留米市立草野小学校	5・6	21	3	12月11日	水	午後	生誕100年 山下清展	講義(鑑賞マナー、展覧会の概要/鑑賞のワンポイント)、ワークシートを活用した鑑賞活動
16	添田町立落合小学校	1～6	14	7	12月18日	水	午前	生誕100年 山下清展	講義(鑑賞マナー、展覧会の概要/鑑賞のワンポイント)、ワークシートを活用した鑑賞活動
17	久留米市立山川小学校	5	87	4	1月15日	水	午前・午後	中村研一と中村琢二展	講義(鑑賞マナー、展覧会の概要/鑑賞のワンポイント)、ワークシートを活用した鑑賞活動
18	福岡市立名島小学校	1～6	50	10	1月21日	火	午前	中村研一と中村琢二展	講義(鑑賞マナー、展覧会の概要/鑑賞のワンポイント)、ワークシートを活用した鑑賞活動
19	那珂川市立安徳小学校	4	50	4	2月18日	火	午前	コレクション展Ⅲ	講義(鑑賞マナー、展覧会の概要/鑑賞のワンポイント)、ワークシートを活用した鑑賞活動
		計		629	68				

中学校

	学校名	学年	児童生徒数	引率数	実施日			対象展覧会	主な実施内容
20	柳川市立柳南中学校	1	46	5	9月5日	木	午前	第79回福岡県美術展覧会(彫刻・写真)	講義(鑑賞マナー、展覧会の概要/鑑賞のワンポイント)、ワークシートを活用した鑑賞活動、外部講師による説明
21	八女市立見崎中学校	3	28	4	9月20日	金	午前	第79回福岡県美術展覧会(洋画)	講義(鑑賞マナー、展覧会の概要/鑑賞のワンポイント)、ワークシートを活用した鑑賞活動、外部講師による説明
22	飯塚市立筑穂中学校	2	67	6	10月30日	水	午前・午後	生誕100年 山下清展、久留米耕と松枝家	講義(鑑賞マナー、展覧会の概要/鑑賞のワンポイント)、ワークシートを活用した鑑賞活動
23	飯塚市立飯塚第二中学校	1	65	7	11月1日	金	午前・午後	生誕100年 山下清展、久留米耕と松枝家	講義(鑑賞マナー、展覧会の概要/鑑賞のワンポイント)、ワークシートを活用した鑑賞活動
24	八女市立黒木中学校	3	61	7	11月19日	火	午前	生誕100年 山下清展、久留米耕と松枝家	講義(鑑賞マナー、展覧会の概要/鑑賞のワンポイント)、ワークシートを活用した鑑賞活動
25	飯塚市立穂波東中学校	1	111	8	12月4日	水	午前・午後	生誕100年 山下清展	講義(鑑賞マナー、展覧会の概要/鑑賞のワンポイント)、ワークシートを活用した鑑賞活動
26	みやま市立東山中学校	1	34	4	1月9日	木	午前	中村研一と中村琢二展	講義(鑑賞マナー、展覧会の概要/鑑賞のワンポイント)、ワークシートを活用した鑑賞活動
		計		412	41				

高等学校

	学校名	学年	児童生徒数	引率数	実施日			対象展覧会	主な実施内容
27	福岡県立福岡高等学校(定時制)	全	39	10	5月2日	木	午前	「鹿児島陸 まいにち」展、コレクション展Ⅰ	講義(鑑賞マナー、展覧会の概要/鑑賞のワンポイント)、ワークシートを活用した鑑賞活動
28	福岡県立八幡中央高等学校	全	76	5	10月18日	金	午前・午後	久留米耕と松枝家	講義(鑑賞マナー、展覧会の概要/鑑賞のワンポイント)、ワークシートを活用した鑑賞活動
		計		115	15				

特別支援学校

	学校名	学年	児童生徒数	引率数	実施日			対象展覧会	主な実施内容
29	福岡県立福岡特別支援学校	小・中・高	14	18	11月26日	火	午前	生誕100年 山下清展、久留米耕と松枝家	講義(鑑賞マナー、展覧会の概要/鑑賞のワンポイント)、ワークシートを活用した鑑賞活動
30	福岡県立福岡聴覚特別支援学校	中 1～3	14	10	12月13日	金	午前	生誕100年 山下清展	講義(鑑賞マナー、展覧会の概要/鑑賞のワンポイント)、ワークシートを活用した鑑賞活動
		計		28	28				

	児童生徒数	引率数	総計
実施済み参加校数(30校)	1184	152	1,336

収集事業

◆収集基本方針

- 1 美術品
福岡県出身作家及び本県ゆかりの作家の近世・近代・現代の作品を対象とする。
- 2 美術資料
 - ア 国内外の展覧会図録や大型画集を中心に美術図書を収集する。
 - イ 広く美術館情報収集に努める。
 - ウ 美術関係のビデオソフトの充実を図る。
 - エ ハイビジョンソフトの充実を図る。

◆収集美術品数

種別 年度	購入金額(税込)(円)	日本画	洋画	彫刻	工芸	その他	合計
平成11年度以前	1,049,792,500	86 67	131 1,366	26 76	82 186	2 16	327 1,711
平成12年度	0	10	17			2	29
平成13年度	0	1	36			1	38
平成14年度	0	5	18	3	25	65	116
平成15年度	0	2	82	2	6		92
平成16年度	0	6	12	2			20
平成17年度	0		21	1		1	23
平成18年度	0	2	17	2	2	1	24
平成19年度	0	2	5		1		8
平成20年度	0	2	36				38
平成21年度	0	2	18		1		21
平成22年度	0	5	15	7	7		34
平成23年度	0	2	23	5			30
平成24年度	0	1	2	1	1	3	8
平成25年度	0	31	14		10	5	60
平成26年度	0		4			1	5
平成27年度	0	3	31				34
平成28年度	0	2	29	1	5		37
平成29年度	0	7	13		25	36	81
平成30年度	70,350,000	1	25	1	6	13	46
令和元年度	0	2	203	56		4	265
令和2年度	81,000,000	4	60	3		67	134
令和3年度	0	6	15	3	4	4	32
令和4年度	20,130,000	2	14	1	9		11
令和5年度	0	5	18		24	1	48
令和6年度	71,500,000	7	67	5	8	7	94
合 計	1,292,772,500	88 183	137 2,161	26 169	94 313	5 227	350 3,053
		271	2,298	195	407	232	3,403

上段は購入件数、下段は寄贈件数(管理換を含む)

◆令和6年度新収蔵品（購入）一覧

no	作家名	作品名	制作年	材質 種別	数量	寸法
1	菊畑茂久馬	ルーレット（ターゲット）	昭和 39 年	エナメル、ゴム、金属、 ワイヤー、紙、板 その他	1 点	121.9×84.5×15.6cm
2	野見山暁治	みんな消えた	令和 2 年	油彩・画布 洋画	1 面	130.3×162.0cm
3	野見山暁治	忘れた日	令和 4 年	油彩・画布 洋画	1 面	91.2×116.8cm
4	築城則子	小倉縞木綿帯「弥生奔流」	令和 3 年	木綿 帯 工芸	1 点	幅 35.0cm
5	築城則子	小倉縞木綿帯「宵瀑」	令和 5 年	木綿 帯 工芸	1 点	幅 35.0cm
6	築城則子	小倉縞木綿帯「地弾く」	令和 5 年	木綿 帯 工芸	1 点	幅 35.0cm
7	牛島智子	トライアングル	平成元年	アクリル絵具、麻紐・画布（パネル貼） その他	1 点	285.1×398.5×6.3cm
8	牛島智子	旅する青二才	平成 15～20 年	油彩・画布（パネル貼） その他	1 点	158.0×158.0×4.5cm

※全て令和6年度取得（基金）

◆令和6年度新収蔵品（寄贈）一覧

no	作家名	作品名	制作年	材質 種別	数量	寸法
1	中村琢二	薬師寺の春	戦後期	油彩・画布 洋画	1 面	45.3×53.3cm
2	尾花成春	歌	昭和 32 年	油彩・板 洋画	1 面	87.8×65.7cm
3	尾花成春	黄色い風景	昭和 34 年	油彩、アスファルト、廃材、 他・板 洋画	1 面	91.8×116.0cm
4	尾花成春	午後 3 時の野	昭和 47 年	油彩・画布 洋画	1 面	145.5×112.4cm
5	尾花成春	百道の海に悲し、宮崎準之助に捧ぐ	平成元年	油彩・画布 洋画	1 面	53.1×33.4cm
6	尾花成春	印象・海(国東半島の海)	平成 7 年	ミクストメディア 洋画	1 面	65.0×140.0cm
7	尾花成春	リスト交響詩第 1 番 「山上にて聞きしこと」	平成 9 年	ミクストメディア 洋画	1 面	103.0×72.9cm
8	尾花成春	束(麦畑より)	平成 13 年	ミクストメディア 洋画	1 面	91.2×72.3cm
9	尾花成春	花に語る一語る一そして海へ	平成 21 年	油彩・画布 洋画	1 面	145.5×112.0cm
10	赤星 孝	磔刑図	昭和 30 年代	油彩・画布 洋画	1 面	45.0×54.0cm
11	赤星 孝	シャルトルの寺	昭和 37 年頃か	油彩・画布 洋画	1 面	74.0×61.0cm
12	柴田善二	イボイノシシ	平成 2 年	木彫 彫刻	1 躯	高 75×幅 120×奥 40cm
13	柴田善二	猫	平成 2 年	木彫 彫刻	1 躯	高 50×幅 65×奥 35cm
14	柴田善二	オランウータン	平成 26 年	木彫 彫刻	1 躯	高 80×幅 80×奥 50cm
15	水上泰生	四季花鳥図	制作年不詳	紙本着彩 日本画	二曲一雙 屏風	各 171.8×184.0cm
16	衣笠守正	鶴亀図	制作年不詳	紙本着彩 日本画	六曲一雙 屏風	161.5×336.0cm
17	板谷 房	牛	昭和 32 年	紙本墨画 日本画	1 幅	87.5×33.3cm

18	横尾御斗路	万里長城	制作年不詳	紙本着彩 日本画	1 面	83.3×80.7cm
19	横尾御斗路	夕景図	制作年不詳	紙本着彩 日本画	1 面	52.5×68.2cm
20	横尾御斗路	洞庭湖・岳陽楼	制作年不詳	紙本着彩 日本画	1 面	50.8×55.9cm
21	中村研一	四阪風景	明治 44 年	水彩・紙 洋画	1 面	32.9×24.2cm
22	中村研一	風景	明治 44 年	水彩・紙 洋画	1 面	32.9×24.2cm
23	野見山暁治	中国の花の絵の模写	昭和 21 年	油彩・画布 洋画	1 面	73.4×53.3cm
24	野見山暁治	今	1970 年代	油彩・画布 洋画	1 面	50.3×65.0cm
25	野見山暁治	標	昭和 60 年	油彩・画布 洋画	1 面	50.1×60.7cm
26	野見山暁治	どこからでも見える風景	昭和 60 年	油彩・画布 洋画	1 面	53.0×45.5cm
27	野見山暁治	チンプな話	昭和 61 年	油彩・画布 洋画	1 面	38.2×45.5cm
28	野見山暁治	遠い国	平成 3 年	油彩・画布 洋画	1 面	65.3×80.4cm
29	野見山暁治	空の階段	平成 3 年	油彩・画布 洋画	1 面	65.3×80.5cm
30	野見山暁治	律	平成 4 年	油彩・画布 洋画	1 面	41.2×31.7cm
31	野見山暁治	忘れた日	平成 8 年	油彩・画布 洋画	1 面	60.8×72.7cm
32	野見山暁治	絶筆	令和 5 年	油彩・画布 洋画	1 面	112.0×145.9cm
33	野見山暁治	[無題]	昭和 22 年頃	木炭、水彩・紙 洋画	1 面	62.8×48.5cm
34	野見山暁治	腕をくむ女	昭和 22-24 年	木炭・紙 洋画	1 面	62.0×48.0cm
35	野見山暁治	[無題]	昭和 23 年頃	鉛筆・紙 洋画	1 面	56.8×67.7cm
36	野見山暁治	[無題]	昭和 23 年頃	鉛筆・紙 洋画	1 面	37.7×26.7cm
37	野見山暁治	[無題]	昭和 26 年頃	鉛筆・紙 洋画	1 面	27.5×39.2cm
38	野見山暁治	廃坑	昭和 26-27 年	鉛筆・紙 洋画	1 面	27.3×39.1cm
39	野見山暁治	[無題]	昭和 26 年頃	鉛筆・紙 洋画	1 面	27.2×39.1cm
40	野見山暁治	[無題]	昭和 26 年頃	鉛筆・紙 洋画	1 面	27.3×39.1cm
41	野見山暁治	[無題]	昭和 26 年頃	鉛筆・紙 洋画	1 面	27.5×39.0cm
42	野見山暁治	[無題]	昭和 26 年頃	鉛筆・紙 洋画	1 面	27.1×39.2cm
43	野見山暁治	廃坑	昭和 26-27 年	鉛筆・紙 洋画	1 面	27.0×39.2cm
44	野見山暁治	《群像(坑内)》のためのデッサン [7]	昭和 27 年頃	木炭・紙 洋画	1 面	77.7×54.7cm
45	野見山暁治	《群像(坑内)》のためのデッサン [8]	昭和 27 年頃	木炭・紙 洋画	1 面	67.0×54.3cm
46	野見山暁治	《群像(坑内)》のためのデッサン [9]	昭和 27 年頃	木炭・紙 洋画	1 面	77.5×54.5cm
47	野見山暁治	《群像(坑内)》のためのデッサン [10]	昭和 27 年頃	木炭・紙 洋画	1 面	77.5×54.5cm
48	野見山暁治	《群像(坑内)》のためのデッサン [11]	昭和 27 年頃	木炭・紙 洋画	1 面	78.2×54.9cm
49	野見山暁治	《群像(坑内)》のためのデッサン [12]	昭和 27 年頃	木炭・紙 洋画	1 面	54.5×67.9cm
50	野見山暁治	《群像(坑内)》のためのデッサン [13]	昭和 27 年頃	木炭・紙 洋画	1 面	67.3×54.9cm
51	野見山暁治	《群像(坑内)》のためのデッサン [14]	昭和 27 年頃	木炭・紙 洋画	1 面	66.3×54.6cm
52	野見山暁治	《群像(坑内)》のためのデッサン [15]	昭和 27 年頃	木炭・紙 洋画	1 面	67.2×54.9cm
53	野見山暁治	《群像(坑内)》のためのデッサン [16]	昭和 27 年頃	木炭・紙 洋画	1 面	76.5×54.8cm
54	野見山暁治	《群像(坑内)》のためのデッサン [17]	昭和 27 年頃	木炭・紙 洋画	1 面	77.1×54.2cm
55	野見山暁治	《群像(坑内)》のためのデッサン [18]	昭和 27 年頃	(表)油彩・紙 (裏)木炭・紙 洋画	1 点	77.0×54.3cm
56	野見山暁治	《群像(坑内)》のためのデッサン [19]	昭和 27 年頃	木炭・紙 洋画	1 面	68.7×54.7cm
57	野見山暁治	パリの冬	昭和 28 年	木炭・紙 洋画	1 面	48.4×63.0cm
58	野見山暁治	裸婦	昭和 28-29 年	鉛筆・紙 洋画	1 面	56.1×45.5cm

59	野見山暁治	橋	昭和 30 年	(表)ペン、水彩・紙 洋画 (裏)水彩、インク・紙	1 点	50.0×64.8cm
60	野見山暁治	自画像	昭和 36-38 年	(表裏とも)水彩・紙 洋画	1 点	49.6×32.4cm
61	野見山暁治	知らない景色	昭和 57 年	クレヨン・紙 洋画	1 面	68.0×97.0cm
62	野見山暁治	《穿》のための下絵[1]	昭和 58 年頃	グワッシュ・紙 洋画	1 面	70.4×90.0cm
63	野見山暁治	《穿》のための下絵[2]	昭和 58 年頃	グワッシュ・紙 洋画	1 面	68.7×87.4cm
64	野見山暁治	《穿》のための下絵[3]	昭和 58 年頃	グワッシュ・紙 洋画	1 面	76.9×98.5cm
65	野見山暁治	砂浜で	昭和 60 年	インク、グワッシュ・紙 洋画	1 面	46.8×63.6cm
66	野見山暁治	砂浜で	昭和 60 年	インク、グワッシュ・紙 洋画	1 面	46.8×63.6cm
67	野見山暁治	砂浜で	昭和 60 年	水彩・紙 洋画	1 面	63.5×47.3cm
68	野見山暁治	アトリエの階段 A	平成 2 年	インク、グワッシュ・紙 洋画	1 面	56.0×76.0cm
69	野見山暁治	アトリエの階段 B	平成 2 年	インク、グワッシュ・紙 洋画	1 面	57.0×76.0cm
70	野見山暁治	はてな?	平成 15 年	油彩・ミクストメディア 洋画	1 面	48.0×92.0cm
71	野見山暁治	ハートの尾ひれ	平成 8 年	アクリル・ダンボール 彫刻	1 点	156.0×90.0×90.0cm
72	野見山暁治	ペルケ王	平成 10 年	アクリル、紙、ダンボール、 発砲スチロール 彫刻	1 点	46.0×23.0×48.5cm
73	野見山暁治	カミワザ	制作年不詳	ダンボール、木 彫刻	1 点	50.0×38.2×27.3cm
74	野見山暁治	ペルケ王の館	平成 10 年	ダンボール、アクリル、木 彫刻	1 点	41.6×62.9×23.1cm
75	野見山暁治	籠の虜	平成 10 年	アクリル、紙、箱、針金 彫刻	1 点	41.8×63.7×16.5cm
76	野見山暁治	これは尾ひれじゃない	平成 10 年	ミクストメディア 彫刻	1 点	41.9×63.8×17.0cm
77	釜我敏子	型絵染着物「からす麦文」	昭和 48 年	絹地型染 工芸	1 領	身丈 151.5cm 桁 67.6cm
78	釜我敏子	型絵染着物「おだまき」	昭和 51 年	絹地型染 工芸	1 領	身丈 162.5cm 桁 64.0cm
79	釜我敏子	型絵染着物「からす麦」	昭和 54 年	絹地型染 工芸	1 領	身丈 162.3cm 桁 66.0cm
80	釜我敏子	型絵染着物「合歓」	昭和 60 年	絹地型染 工芸	1 領	身丈 159.5cm 桁 68.0cm
81	釜我敏子	型絵染着物「わすれな草」	昭和 63 年	絹地型染 工芸	1 領	身丈 159.5cm 桁 68.0cm
82	釜我敏子	型絵染着物「みやこわすれとかたばみ文」	平成 4 年	麻地型染 工芸	1 領	身丈 156.4cm 桁 67.5cm
83	釜我敏子	藍染着物「ぶらしのき」	平成 9 年	絹地藍染 工芸	1 領	身丈 159.5cm 桁 67.2cm
84	瀧本光國	化現—瀧 ’99—Ⅲ	平成 11-15 年	木彫(樟)、柿渋、漆、胡粉 彫刻	1 点	261.0×91.8×51.0cm
85	瀧本光國	雲烟Ⅵ	平成 23 年	木彫(樟)、白土 彫刻	1 点	210.0×88.0×26.0cm
86	山喜多二郎太	母子と朝顔	制作年不詳	紙本墨画淡彩 日本画	1 面	22.0.×32.2cm
87	森口華弘	本綾佐賀錦袋帯	制作年不詳	絹織物 工芸	1 反	幅 31.3cm
88	大浦こころ	自然と身体	平成 22 年	木炭、鉛筆・紙 洋画	1 面	55.5×75.0cm
89	大浦こころ	自然の力	平成 22 年	木炭、鉛筆・紙 洋画	1 面	50.0×65.0cm
90	大浦こころ	ついて行く	平成 22 年	木炭、鉛筆・紙 洋画	1 面	50.3×66.1cm
91	大浦こころ	やわらかな圧力のデッサン	平成 22 年	木炭、鉛筆・紙 洋画	1 面	56.6×78.9cm
92	大浦こころ	やわらかな圧力のデッサン	平成 22 年	木炭、鉛筆・紙 洋画	1 面	54.8×75.0cm
93	大浦こころ	やわらかな圧力のデッサン	平成 22 年	木炭、鉛筆・紙 洋画	1 面	50.3×66.3cm
94	大浦こころ	やわらかな圧力のデッサン	平成 22 年	木炭、鉛筆・紙 洋画	1 面	50.1×65.1cm

◆美術館資料整備状況

1 美術図書室収納図書資料数

大 分 類		総 冊 数 (R7. 3. 31現在)	令和6年度 受入冊数	内 訳	
				購 入	寄 贈
A	美 術 総 記	5,466	48	0	48
B	日 本 美 術	4,032	58	0	58
C	西 洋 美 術	2,156	7	0	7
D	東 洋 美 術	464	1	0	1
E	図 録	24,547	657	0	657
F	福 岡 資 料	2,159	49	0	49
G	関 係 諸 学	1,789	2	0	2
計		40,613	822	0	822

※雑誌 25タイトル 16,481冊

2 ビデオテープ数

大 分 類		本 数
A	当館企画展覧会	6
B	西 洋 美 術	46
C	現 代 美 術	6
D	東 洋 美 術	16
E	世界古代遺跡	25
F	日本美術（平安時代）	27
G	日本美術（中世～近世）	28
H	日本美術（近代日本画・洋画等）	26
I	日本美術（近代工芸）	63
J	技法・学習	30
K	その他	16
計		289

3 ハイビジョンソフト数

鑑賞ソフト	
「日本で見られる19世紀フランス美術」	(20タイトル)
「パリで見られる19世紀フランス美術」	(20タイトル)
「印象派展覧会」	(8タイトル)
「連作の魅力」	(12タイトル)
「都市の表情」	(4タイトル)
「パリで見られる19世紀フランス美術Ⅱ」	(10タイトル)
「人物画の名品」	(10タイトル)

4 複製絵画数 95点

5 利用者数等

図書室開室日数	295 日
図書室利用者数	3,571 人
レファレンス数	544 件

博物館実習

令和6年度博物館実習は、4大学から7名の実習生を受け入れて実施した。

実習テーマを「展覧会を企画すること」として、各自最終日にプチ展示を行うという課題を与えた。実習期間中に開催していたコレクション展第Ⅱ期「新聞美術館2」と小特集「久我五千男が集めた須恵焼」を用いて、展覧会の目的や企画のための方法やその普及について学んだほか、美術資料の取り扱いをはじめとする学芸業務について各種実習を行い、学芸課各職員の講義を交えながら、全7日間の日程で実施した。

・実習期間

令和6年7月18日(木)～令和6年9月6日(金)（延べ7日間）

・実習内容

- 1) 福岡県立美術館について（講義）
- 2) 展覧会企画について（講義）
- 3) 美術品、美術関連資料の取扱いについて
 - ・作家及び作品調査で必要な視点について（講義）
 - ・作品のコンディションチェック、作品調書作成等（実習）
- 4) コレクション展Ⅱを用いた活動
 - ・展覧会紹介（講義）
 - ・鑑賞教育現場における現状・課題の把握（実習）
 - ・作品の魅力紹介（実習）
- 5) 美術図書室を用いた活動
 - ・美術館における美術図書室の在り方（講義）
 - ・美術図書室作業（実習）
- 6) プチ展示構想・企画・展示（実習）

大学名	人数
九州産業大学	2名
筑紫女学園大学	2名
福岡大学	2名
八洲学園大学	1名
合計 4大学	7名

美術作品の貸出

貸出件数 5 件 貸出点数 58 点

No.	分野	作家名／産地	作品名	主催者	展覧会期・会場	目的
1	油彩画	山口長男	「居」	対馬博物館	令和6年4月27日～6月30日 対馬博物館	「市制施行20周年記念特別展「対馬の美術Ⅰ 対馬に生きた画家たち」展への出品のため。
		林 武	「花」			
2	日本画	荒巻大祐	「雑草曼陀羅」	九州芸文館美術展実行委員会	令和6年5月18日～6月16日 九州芸文館	「福岡県立美術館コレクション展 びびびっと！ー感覚で楽しむ美術鑑賞ガイドー」展への出品のため。
		吉村忠夫	「殿上人賜禄図」 「麻須良乎」			
		上田宇三郎	「樹林」			
		伊藤彰耳	「春ふたたび」			
	油彩画	庫田 毅	「窓辺の風景」			
		山喜多二郎太	「残雪」			
		古賀耕児	「扉」			
		高島野十郎	「割れた皿」			
			「こぶしとリンゴ」 「太陽」			
		宇治山哲平	「阿吽」			
		池上丁一	「庭潦」			
		児島善三郎	「蓮花」			
		田淵安一	「沼の眺め」			
		向井潤吉	「まひる」			
		柳瀬正夢	「波止場のⅠ氏」			
		中村研一	「庭にて」			
		古川吉重	「前向きの人」			
			「無題」			
		光行洋子	「蒼い空2010ーA」			
		赤星 孝	「新緑」			
	版画	坂本善三	「風」			
		野見山曉治	「誰も知らない」			
		上田 薫	「オレンジにナイフ」			
	彫刻	柴田善三	「そこにハエが一匹(馬)」			
		宮崎準之助	「木の球による提示(一) 坐碑」			
		富永朝堂	「天の川」			
		豊福知徳	「レリーフ黒Ⅱ」			
		菊畑茂久馬	「氷囊・水のかたち」			
	工芸	江藤日出男	「遠い日」			
		上野	「三彩茶碗」			
		須恵	「染付蓮池図煎茶碗」			
		鵬ヶ崎	「象嵌文字入茶碗」			
		柳原	「白釉平茶碗」			
			「熊川茶碗」			
		柏崎栄助	「色漆手箱 1」			
			「螺鈿文漆手箱 1」			
			「色漆手箱 3」			
	水彩・素描	和田千秋	「満月」			
			「雷」			
			「渦巻」			

計 2 点

計 42 点

3	油彩画	岡田三郎助	「婦人像」	鹿児島市立美術館、南日本新聞社、MBC 南日本放送	令和6年7月24日～9月1日 鹿児島市立美術館	「鹿児島市立美術館開館70周年記念 没後100年 黒田清輝とその時代」展への出品のため。	計 2点
		黒田清輝	「ルノワール「水浴の女」(模写)」				
4	工芸	浦志武火子	「焚き火」	久留米市美術館、朝日新聞社、テレQ	令和6年7月20日～10月14日 久留米市美術館	「藍のものがたり」展への出品のため。	計 1点
5	油彩画等	野見山暁治	「自画像」 「廃坑」 「廃坑」 「道」 「炭坑（A）」 「川沿いの炭坑」 「炭坑の一隅」 「群像（坑内）」 「ベルギーのボタ山」 「ベルギーの炭坑」 「シャルルロアの町」	飯塚市教育委員会	令和6年10月18日～11月24日 飯塚市歴史資料館	「洋画家 野見山暁治と飯塚」展への出品のため。	計 11点

どこでもケンビ（バーチャル美術館事業）

福岡県立美術館では、新型コロナウイルスと共存せざるを得ないこの時代、「新しい生活様式」への対応のため、地方創生臨時交付金によりバーチャル美術館等の制作に取り組み、令和3年3月29日に公開を開始した。

具体的には、当館ホームページのトップページ等をリニューアルして、よりわかりやすく情報をお知らせするとともに、新たに「どこでもケンビ」と題して、そこに「福岡県立バーチャル美術館」と「edukenbi（えでゅけんび）」という2つの魅力的なサイトを立ち上げ、自宅等にいながらも、当館の美術品をじっくり鑑賞し、また児童生徒の皆さんにも楽しく学習してもらえるような内容にした。

◆福岡県立バーチャル美術館

<https://virtualmuseum.fukuoka-kenbi.jp/>

「高島野十郎の世界」、「福岡県美のたからもの」、「福岡県立美術館紹介ムービー」の3つの柱で構成し、「孤高の画家」、「蠟燭の画家」として知られる高島野十郎（1890-1975）の作品を中心に、当館が所蔵する珠玉の作品を自宅等にしながら高精細画像で鑑賞することができ、そしていつかまた本物を観るために美術館を訪れたくなるような内容を目指した。

令和6年度アクセス数 79,670 件

◆edukenbi（えでゅけんび）

<https://edukenbi.fukuoka-kenbi.jp/>

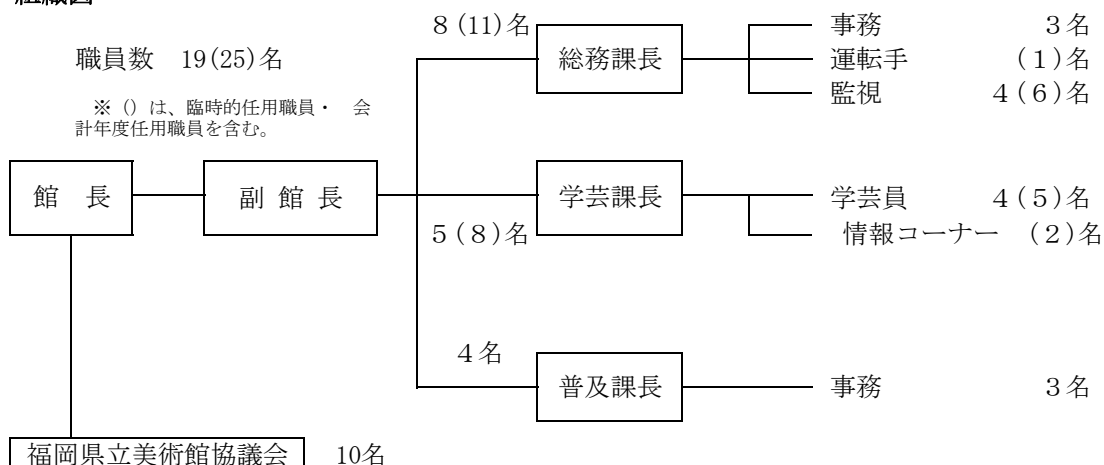
「子どもたちのための美術と学びのウェブサイト」として、おうちにいながら、インタラクティブな地図を探索して福岡県立美術館の作品について学んだり、動画をみたり、アクティビティに挑戦したりできる内容にした。

今後も作品紹介や動画を随時追加しながら、そのほかのインタラクティブなツールや学校の先生や保護者に役立つ資料・素材などを提供していく予定である。

令和6年度アクセス数 17,158 件

組織図・名簿

組織図



令和6年度職員

館長	富松 文夫	学芸課長	鈴木 理恵
副館長	明永 好弘	学芸課副長	高山 百合
総務課長	畑山 智	特任学芸員	西本 匡伸
総務課副長	林田 朋子	技術主査	岡部 るい
主任主事	高野 晃平	主任技師	中島 由実子
主事	白井 ちはや	技師	八並 美咲
主任技能員	大東 正治	図書室補助職員	長田 杉美
主任技能員	山口 聡	図書室補助職員	池田 千代美
主任技能員	野中 篤成	普及課長	本田 真澄
主任技能員	松村 貴行	指導主事	
技能員	井上 誠治	兼普及課副長	新谷 幸子
技能員	大東 誠幸	指導主事	
技能員	藤木 真二	兼事務主査	高橋 大輔
		主任主事	岡田 理瑛

福岡県立美術館協議会委員

任期 自 令和5年9月7日
至 令和7年9月6日

委員名	現職名
糸山 裕子	NPO法人 アートマネジメントセンター福岡代表理事
今林 久	福岡県議会議員
植野 健造	福岡大学人文学部教授
牛川 由美	筑紫野市教育委員会委員
小泉 恵英	九州国立博物館副館長
小田部 黄太	公益社団法人 福岡県美術協会理事長
田中 憲育	福岡県立鞍手高等学校長
辻 未央	NPO法人 宇美こども子育てネットうーみん副代表理事
中山 景子	久留米市市民文化部文化振興課課長補佐
三島 美佐子	九州大学総合研究博物館教授

※名簿 50音順

福岡県立美術館協議会開催状況

日時 令和7年2月17日(月)

- 議 事
- (1) 令和6年度実施の主要事業について
 - (2) 令和6年度福岡県立美術館の自己評価について
 - (3) 令和7年度実施予定の主要事業(案)について
 - (4) 令和7年度福岡県立美術館の自己評価(計画段階)について

主要各室概要

展示部門

	展示室	面積 (㎡)	使用料 (1日)		摘 要
			有料展	無料展	
1	彫刻展示室	147	5,580	3,710	天井高 5.38m 搬入口 W1.7×H2.6 (m)
3	展示室 1	298	11,030	7,310	天井高 3.25m 固定壁面 224m 壁面延長時306m (最大) (可動パネル使用) 展示室1 107m 展示室2 80m 展示室3 69m 展示室4 57m 可動パネル w1.66×H2.6×D0.95 (m)
	展示室 2	198	7,440	4,960	
	展示室 3	189	7,060	4,710	
	展示室 4	131	4,710	3,090	
	計	816			
4	常設展示室	441	観覧料 () 内は団体料金 一般 210円 (170円) 高大生 140円 (110円) 小中生 60円 (50円)		天井高 3.3m 固定壁面 119m 固定ケース 6.7m×6
合 計		1,404			
4	ギャラリー		壁面 (傾斜角30°の展示台) 19m		

収蔵部門

階	室 名	面積 (㎡)	摘 要
収蔵庫 3～7	収 蔵 庫	245	49㎡ × 5室 搬出入エレベータ 出入口寸法 幅2,000mm 高さ2,500mm かご内法 間口2,000mm 奥行2,450mm
本館3	大内田茂士 遺作収蔵庫	46	
合 計		291	

サービス部門

階	室 名	面積 (m ²)	摘 要
1	カフェテラス	80	喫茶・軽食
2	ハイビジョン ギャラリー		10席 65インチ液晶テレビ 静止画再生装置
4	視聴覚室	87	80席 大型スクリーン 16mm映写機 スライド映写機、液晶プロジェクター 使用料 9:00～12:00 3,710円 13:00～18:00 6,200円
	美術図書室 情報コーナー	236	11席 開架式書架、自由閲覧方式 美術情報レファレンスカウンター コインロッカー(23)
	ビデオコーナー		4ブース(8席) 自動放映システム 番組自由選択

管理部門

階	室 名
1	監視室、印刷燻蒸室、ボイラー管理室、機械室、シャワー室、職員休憩室 総合案内控室、美術団体交流室
2	館長室、副館長室、事務室(総務課・学芸課・普及課)、会議室
3	荷解室、倉庫
4	情報コーナー事務室、視聴覚編集室、視聴覚操作室、撮影室

ロビー・その他

階	室 名	摘 要
1	総合案内	
	エントランスホール	コインロッカー、ロビーチェア、車椅子、ベビーカー
2	ロビー	丸テーブル、ロビーチェア
	授乳室	ベンチ
3	主催者控室	
	エントランスホール	コインロッカー
	休憩コーナー	ロビーチェア
4	エントランスホール	車椅子、ベビーカー

建築概要

- 1 名称 福岡県立美術館
- 2 管理
 - 設置者 福岡県
 - 管理者 福岡県立美術館
 - 主管課 福岡県教育庁教育振興部社会教育課
- 3 所在地 福岡市中央区天神 5 丁目 2 番 1 号
(郵便番号 810-0001)
- 4 電話等 電話 092-715-3551
FAX 092-715-3552
- 5 供用開始日 昭和 60 年 (1985 年) 11 月 3 日
- 6 建築
 - 工期 昭和 59 年 7 月 6 日 (起工) ~ 昭和 60 年 7 月 31 日 (竣工)
 - 設計 (株)佐藤企画 (旧称: 佐藤設計事務所)
福岡県建築部営繕課
 - 施工 建築工事 (株)龍建設・旭・広田建設共同企業体
電気工事 東和・サン電工建設企業体
設備工事 大橋・久栄共同企業体
 - 総工費 約 14 億円
- 7 土地
 - 面積 敷地 5,645.95 m²
 - 財産分類 借受
 - 所有者 福岡市
 - 現況地目 宅地
 - 借受目的 美術館用地
 - 借受期間 当初 昭和 35 年 9 月 1 日
開始 昭和 60 年 8 月 1 日 (貸借契約締結)
終了 美術館の存する間
 - 借受料 なし
- 8 建物
 - 分類 行政財産
 - 構造 鉄筋コンクリート造地上 4 階建 (本館部分)
鉄骨鉄筋コンクリート造地上 7 階建 (収蔵庫部分)
 - 価格 721,299,925 円 (令和 7 年 3 月 31 日現在)
 - 面積 敷地面積 5,645.95 m²
建設面積 1,975.83 m²
延床面積 6,929.08 m²

設備概要

- 1 電気設備
 - 変圧器 単相 50KVA×1、単相 75KVA×2
三相 200KVA×1、三相 1,2 相(スコット)30KVA×1
進相コンデンサー 50KVA×1、20KVA×4
 - 直流電源装置 鉛蓄電池(シール形据置)150Ah-10HR
 - 非常用発電機 ガスタービン 3φ-3W 220V 187.5KVA
 - 電話設備 電子式 局線 5 回線
 - 放送設備 防災放送設備、BGM放送設備、インターホン設備
 - 防災設備 自動火災報知、煙感知器連動制御、非常照明
非常放送、誘導灯
 - 防犯設備 ITV監視装置 カメラ 17 台(うち電動式 13 台)
 - 視聴覚設備 AVガイドシステム 3 ブース
16 ミリ映写機、スライド映写機
データビューアー
ハイビジョン 65 インチ液晶テレビ
設置型液晶プロジェクター 静止画再生装置
移動型液晶プロジェクター
 - 照明設備 展示室 紫外線防止用自然白色蛍光灯 40W
(調光付 80～450LUX)、白熱電球 60W
配線ダクト設備
収蔵庫 紫外線防止用自然白色蛍光灯 40W
視聴覚室 紫外線防止用自然白色蛍光灯 40W
ロビー レフランプ 100W
- 2 機械設備
 - 冷温水発生機 吸収冷温水機ガス焚き HAU-FH100CXR 冷凍 351.6kW 加熱 422.0kW
 - 空気調和器 6 基(ファンコイルユニット併用)
- 3 給排水設備 受水槽(FRP 製)16t、高架水槽(FRP 製)4.5t
- 4 昇降機設備 乗用(兼用:車いす用) 750Kg 1 基、乗用 2,200Kg 1 基
荷物用 2,000Kg 1 基
- 5 加湿設備 電気蒸発式加湿器 蒸気発生量 15 kg/H

年度別入館者状況

年度 区分		平成25年度 以 前	平成 26	平成 27	平成 28	平成 29	平成 30	令和 1	令和 2	令和 3	令和 4	令和 5	令和 6	累 計
展 覧 会 ①	常設展	239,220	2,997	6,114	13,395	10,784	15,311	9,085	7,626	7,551	7,170	3,005	7,612	329,870
	企画展	225,791	4,347	8,441	6,182	6,574	9,258	8,043	1,737	2,627	7,298	5,532	7,480	293,310
	共催展 県展 実行委員会展	345,522	9,512	9,843	9,337	9,805	8,893	8,990	0	7,028	7,200	7,815	7,529	431,474
		1,279,754	8,685	41,475	76,495	77,411	63,781	52,842	12,010	18,167	21,053	23,562	51,201	1,726,436
	小計	1,625,276	18,197	51,318	85,832	87,216	72,674	61,832	12,010	25,195	28,253	31,377	58,730	2,157,910
	貸館展	2,671,382	34,520	58,008	76,652	86,253	89,722	64,334	24,418	32,593	46,392	20,502	36,948	3,241,724
計		4,761,669	60,061	123,881	182,061	190,827	186,965	143,294	45,791	67,966	89,113	60,416	110,770	6,022,814
展 覧 会 ②	移動美術館展	10,083	2,108	1,079	1,268	3,527	1,246	1,871	1,471	818	2,016	1,033	2,483	29,003
	イベント等	23,948	1,773	4,309	7,084	6,545	4,604	3,576	379	687	2,028	1,110	2,928	58,971
	計	34,031	3,881	5,388	8,352	10,072	5,850	5,447	1,850	1,505	4,044	2,143	5,411	87,974
そ の 他 他	美術図書室	217,203	1,746	4,131	4,411	4,617	4,380	3,371	1,740	1,872	2,764	1,963	3,571	251,769
	ビデオブース	152,952	405	1,464	1,167	974	1,380	882	0	0	0	655	1,199	161,078
	ハイビジョン	200,410	3,042	6,714	15,078	4,914	6,216	5,010	5,139	2,922	3,810	2,805	5,136	261,196
	カフェテラス	(未集計)	10,760	20,685	29,910	27,482	28,545	21,383	8,035	7,402	8,141	4,415	8,154	174,912
	計	570,565	15,953	32,994	50,566	37,987	40,521	30,646	14,914	12,196	14,715	9,838	18,060	848,955
合 計		5,366,265	79,895	162,263	240,979	238,886	233,336	179,387	62,555	81,667	107,872	72,397	134,241	6,959,743

年間開館日数	—	175	268	304	304	305	277	258	269	269	165	296	—
--------	---	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	---

企画展の開催状況一覧

(過去10ヶ年)

年度	展覧会名	開催会期 (開催日数)	入場者数		
			総数	有料	無料
27	紙、やどる形	27.10.10～11.23(40日間)	4,030	1,754	2,276
	型と花と 釜我敏子の型絵染	27.11.29～28.1.17(37日間)	4,411	1,658	2,753
	計		8,441	3,412	5,029
28	九大百年 美術をめぐる物語	28.10.8～11.13(32日間)	2,831	762	2,069
	郷土の美術をみる・しる・まなぶ 2017 写真家片山攝三 肖像写真の軌跡	29.2.4～3.20(39日間)	3,351	2,018	1,333
	計		6,182	2,780	3,402
29	郷土の美術をみる・しる・まなぶ 番外編 ARS/NATURA ―「風景」の向こう側―	29.10.7～11.26(44日間)	2,982	1,633	1,349
	没後50年 中村研一展	30.2.3～3.11(32日間)	3,592	1,867	1,725
	計		6,574	3,500	3,074
30	郷土の美術をみる・しる・まなぶ2018 泰光コレクション寄贈記念展 鹿児島寿蔵の人形と短歌	30.10.6～11.25(44日間)	4,513	2,179	2,334
	平成30年度独立行政法人国立美術館巡回展 国立国際美術館コレクション：美術のみかた 自由自在	30.12.18～31.2.5(37日間)	4,745	2,773	1,972
	計		9,258	4,952	4,306
令和元	郷土の美術をみる・しる・まなぶ2019 新たな高島野十郎展	1.10.5～11.24(44日間)	7,001	3,971	3,030
	赤星孝と赤星信子展	2.2.1～3.8(32日間) →2.27で中止(23日間)	1,042	528	514
	計		8,043	4,499	3,544
2	1964ー福岡県文化会館、誕生。	2.7.18～8.27(35日間) →次年度へ開催延期	-	-	-
	郷土の美術をみる・しる・まなぶ2020 生きることから 柏崎栄助とデザイン	3.1.23～3.14(44日間)	1,737	855	882
	計		1,737	855	882
3	1964ー福岡県文化会館、誕生。	2.7.23～9.2(36日間) →新型コロナウイルス感染症の感染 拡大防止のため8.5で中止(12日間)	311	169	142
	郷土の美術をみる・しる・まなぶ2021 豊福知徳寄贈記念展 光の探求	4.1.22～3.13(44日間)	2,316	1,242	1,074
	計		2,627	1,411	1,216
4	郷土の美術をみる・しる・まなぶ2022 牛島智子 2重らせんはからまない	4.10.15～12.4(44日間)	2,032	939	1,093
	寄贈記念展 野見山暁治	4.12.17～5.2.12(43日間)	5,266	2,802	2,464
	計		7,298	3,741	3,557
5	生誕130年 児島善三郎展	5.10.7～5.12.10(55日間)	5,532	2,514	3,018
	計		5,532	2,514	3,018
6	久留米絃と松枝家展	6.10.12～12.1(44日間)	4,612	1,699	2,913
	中村研一と中村琢二展	6.12.21～7.2.2(31日間)	2,866	1,570	1,296
	計		7,478	3,269	4,209

※令和5年度は改修工事等に係る臨時休館のため、企画展は1本のみ。

共催展(実行委員会方式)の開催状況一覧

(過去10か年)

年 度	展 覧 会 名	開 催 会 期 (開催日数)	入 場 者 数			共 催 等
			総 数	有 料	無 料	
27	金子みすゞ・金澤翔子 ーひびきあう詩と書ー展	27.6.20～27.7.26 (32日間)	15,858	9,514	6,344	毎日新聞社 RKB毎日放送
	没後40年 高島野十郎展	27.12.4～28.1.31 (45日間)	25,617	18,447	7,170	西日本新聞社 TNCテレビ西日本
	平成27年度 移動美術館 たちあらい 伝説と祈りの里ミュージアム	28.2.14～28.2.28 (13日間)	1,079	185	894	大刀洗町 大刀洗町教育委員会
	計		42,554	28,146	14,408	
28	色彩の奇跡 印象派展	28.4.16～28.6.5 (45日間)	47,858	35,404	12,454	TNCテレビ西日本 西日本新聞社
	ビートルズ・ポター™生誕150周年 ピーターラビット™展	28.10.28～28.12.11 (39日間)	28,637	21,090	7,547	読売新聞社 RKB毎日放送 東映
	平成28年度 移動美術館 なかま 色とかたちのハーモニー	29.2.9～29.2.28 (18日間)	1,268	117	1,151	中間市 中間市教育委員会
	計		77,763	56,611	21,152	
29	POWER OF PRINCESS 「ディズニープリンセスとアナと雪の女王 展」	29.4.14～29.6.11 (52日間)	57,009	46,015	10,994	電通 KBC九州朝日放送
	追悼水木しげる ゲゲゲの人生展	29.10.27～29.12.10 (39日間)	20,402	14,032	6,370	西日本新聞社 TVQ九州放送 朝日新聞社
	平成29年度 移動美術館 柏の森の美術館	29.11.2～29.12.4 (34日間)	3,527	402	3,125	飯塚市教育委員会
	計		80,938	60,449	20,489	
30	息を呑む繊細美 切り絵アート展	30.4.20～30.6.3 (41日間)	33,361	24,216	9,145	毎日新聞社 RKB毎日放送
	印象派への旅 海運王の夢 バレルコレクション	30.10.12～30.12.9 (52日間)	30,420	20,202	10,218	毎日新聞社 FBS福岡放送
	平成30年度 移動美術館展 大きなクスの木の下で美術館展vol.10	31.2.2～31.2.24 (20日間)	1,246	238	1,008	宗像市教育委員会 宗像ユリックス
	計		65,027	44,656	20,371	
31 (1)	ウォルト・ディズニー・アーカイブス展	31.4.19～1.6.16 (52日間)	41,070	31,512	9,558	KBC九州朝日放送 電通
	大相撲展福岡	1.10.18～1.12.1 (41日間)	11,772	7,054	4,718	読売新聞社 RKB毎日放送 LOVE FM 東映
	令和元年度 移動美術館展 出会おう！ミリカでアート	2.1.10～2.2.6 (24日間)	1,871	222	1,649	那珂川市教育委員会 公益財団法人那珂川 市教育文化振興財団
	計		54,713	38,788	15,925	

年 度	展 覧 会 名	開 催 会 期 (開催日数)	入 場 者 数			共 催 等
			総 数	有 料	無 料	
2	ストラスブール美術館展 ～印象派からモダンアートへの眺望～	2.6.5～2.7.19 (39日間)	※開催中止			毎日新聞社 TNCテレビ西日本
	没後70年 吉田博展	2.10.16～2.12.13 (51日間)	12,010	9,378	2,632	毎日新聞社 RKB毎日放送
	令和2年度 移動美術館展 おおむたアートミュージアム	3.1.20～3.2.11 (21日間)	1,471	445	1,026	大牟田市 公益財団法人大牟田 市文化振興財団
	計		13,481	9,823	3,658	
3	ムーミンコミックス展	3.5.15～3.7.11 (50日間)	10,849	8,912	1,937	西日本新聞社 RKB毎日放送 東映
	近代日本絵画の名作展 ーひろしま美術館コレクションー	3.10.29～3.12.26 (51日間)	7,318	6,093	1,225	毎日新聞社 西日本新聞社
	令和3年度 移動美術館展 時を超えたアートステーション	4.1.18～4.2.13 (24日間)	818	505	313	桂川町教育委員会 公益財団法人 福岡県教育文化奨学財団
	計		18,985	15,510	3,475	
4	杉浦非水 時代をひらくデザイン	4.4.15～4.6.12 (52日間)	11,590	9,447	2,143	KBC九州朝日放送 西日本新聞社
	日本の切り絵 7人のミューズ	4.10.28～4.12.25 (51日間)	9,463	7,230	2,233	毎日新聞社 TNCプロジェクト TNCテレビ西日本
	令和4年度 移動美術館展 梅香る八女は美術も華ざかり!	5.2.4～4.2.26 (20日間)	2,016	916	1,100	八女市 八女市教育委員会 公益財団法人 福岡県教育文化奨学財団
	計		23,069	17,593	5,476	
5	テレビシリーズ放送開始15周年記念 ひつじのショーン展	5.10.27～5.12.24 (51日間)	23,562	20,152	3,410	九州朝日放送 東映
	令和5年度 移動美術館展 アート、すえひろがり。	5.11.3～5.11.26 (21日間)	1,033	388	645	須恵町 須恵町教育委員会 公益財団法人 福岡県教育文化奨学財団
	計		24,595	20,540	4,055	
6	「鹿児島睦 まいにち」展	6.4.24～6.6.23 (54日間)	15,003	12,341	2,662	KBC九州朝日放送 西日本新聞社
	生誕100年 山下清展 ー百年目の大回想	6.10.25～6.12.22 (51日間)	36,198	29,815	6,383	毎日新聞社 RKB毎日放送
	令和6年度 移動美術館展 芸術の海へ飛び出そう 3館をめぐる芦屋アートの旅	7.2.22～7.3.16 (21日間)	2,483	1,266	1,217	芦屋町 芦屋町教育委員会 公益財団法人 福岡県教育文化奨学財団
	計		53,684	43,422	10,262	

※実行委員会方式による共催展は昭和62年度から実施。

福岡県美術展覧会(県展)の開催状況一覧

(過去10か年)

年 度	会 期	公 募		入 場 者 数		
		出品数(人数)	入選数(人数)	総 数	有 料	無 料
26	1期 9月2日～9月7日 書	3,424(2,841)	1,371(1,369)	9,512	3,669	5,843
70	2期 9月9日～9月15日 洋画					
回	3期 9月17日～9月21日 日本画 彫刻 デザイン					
	4期 9月23日～9月28日 工芸 写真					
27	1期 9月8日～9月13日 書	3,435(2,848)	1,372(1,365)	9,843	3,789	6,054
71	2期 9月15日～9月20日 洋画					
回	3期 9月22日～9月27日 日本画 彫刻 デザイン					
	4期 9月29日～10月4日 工芸 写真					
28	1期 9月6日～9月11日 書	3,414(2,813)	1,368(1,360)	9,337	3,444	5,893
72	2期 9月13日～9月19日 洋画					
回	3期 9月21日～9月25日 日本画 彫刻 デザイン					
	4期 9月27日～10月2日 工芸 写真					
29	1期 9月5日～9月10日 書	3,235(2,667)	1,347(1,338)	9,805	4,049	5,756
73	2期 9月12日～9月18日 洋画					
回	3期 9月20日～9月24日 日本画 彫刻 デザイン					
	4期 9月26日～10月1日 工芸 写真					
30	1期 9月4日～9月9日 書	2,947(2,471)	1,338(1,320)	8,893	3,688	5,205
74	2期 9月11日～9月17日 洋画					
回	3期 9月19日～9月24日 日本画 彫刻 デザイン					
	4期 9月26日～9月30日 工芸 写真					
31	1期 9月3日～9月8日 書	2,822(2,346)	1,323(1,303)	8,990	3,562	5,428
(1)	2期 9月10日～9月16日 洋画					
75	3期 9月18日～9月23日 日本画 彫刻 デザイン					
回	4期 9月25日～9月29日 工芸 写真					
2	※開催中止					
76						
回						
3	1期 9月7日～9月12日 彫刻 写真	2,587(2,161)	1,313(1,292)	7,028	2,792	4,236
76	2期 9月14日～9月20日 日本画 工芸 デザイン					
回	3期 9月22日～9月26日 洋画					
	4期 9月28日～10月3日 書					
4	1期 9月6日～9月11日 彫刻 写真	2,501(2,094)	1,289(1,271)	7,200	2,850	4,350
77	2期 9月13日～9月19日 日本画 工芸 デザイン					
回	3期 9月21日～9月25日 洋画					
	4期 9月27日～10月2日 書					
5	1期 9月5日～9月10日 彫刻 写真	2,441(2,501)	1,307(1,289)	7,815	2,956	4,859
78	2期 9月12日～9月18日 日本画 工芸 デザイン					
回	3期 9月20日～9月24日 洋画					
	4期 9月26日～10月1日 書					
6	1期 9月3日～9月8日 彫刻 写真	2,383(2,441)	1,307(1,307)	7,529	3,114	4,415
79	2期 9月10日～9月16日 日本画 工芸 デザイン					
回	3期 9月18日～9月23日 洋画					
	4期 9月25日～9月29日 書					

県展巡回展の開催状況一覧

(過去10か年)

○第70回県展(平成26年度)

会 期	会 場	入場者数	部 門 ・ 出 品 数
筑後展	10月6日～10月12日	大牟田文化会館	808人
宗像展	10月15日～10月26日	宗像ユリックス	835人
筑豊展	10月28日～11月16日	嘉麻市立織田廣喜美術館	740人
北九州展	11月18日～11月24日	北九州市立美術館	4,275人
			全7部門 576点

○第71回県展(平成27年度)

会 期	会 場	入場者数	部 門 ・ 出 品 数
宗像展	10月14日～10月23日	宗像ユリックス	644人
筑後展	11月8日～11月14日	大牟田文化会館	714人
筑豊展	11月17日～12月6日	嘉麻市立織田廣喜美術館	987人
			全7部門 576点

○第72回県展(平成28年度)

会 期	会 場	入場者数	部 門 ・ 出 品 数
筑後展	10月10日～10月16日	大牟田文化会館	788人
筑豊展	11月1日～11月20日	嘉麻市立織田廣喜美術館	786人
宗像展	11月22日～12月4日	宗像ユリックス	820人
			全7部門 576点

○第73回県展(平成29年度)

会 期	会 場	入場者数	部 門 ・ 出 品 数
筑後展	10月9日～10月15日	大牟田文化会館	905人
筑豊展	10月31日～11月19日	嘉麻市立織田廣喜美術館	874人
宗像展	11月21日～12月2日	宗像ユリックス	669人
			全7部門 576点

○第74回県展(平成30年度)

会 期	会 場	入場者数	部 門 ・ 出 品 数
筑後展	10月8日～10月14日	大牟田文化会館	715人
宗像展	10月16日～10月28日	宗像ユリックス	651人
筑豊展	10月30日～11月18日	嘉麻市立織田廣喜美術館	961人
北九州展	11月20日～11月25日	北九州市立美術館	2,098人
			全7部門 550点

○第75回県展(2019年度)

会 期	会 場	入場者数	部 門 ・ 出 品 数
筑後展	10月7日～10月13日	大牟田文化会館	560人
宗像展	10月16日～10月25日	宗像ユリックス	478人
筑豊展	10月29日～11月17日	嘉麻市立織田廣喜美術館	746人
北九州展	11月19日～11月24日	北九州市立美術館	2,193人
			全7部門 557点

○第76回県展(令和2年度)

※開催中止

○第76回県展(令和3年度)

会 期	会 場	入場者数	部 門 ・ 出 品 数
筑後展	10月12日～10月17日	大牟田文化会館	533人
筑豊展	10月20日～11月7日	嘉麻市立織田廣喜美術館	747人
宗像展	11月9日～11月21日	宗像ユリックス	585人
北九州展	11月24日～11月28日	北九州市立美術館	2,274人
			全7部門 579点

○第77回県展(令和4年度)

会 期	会 場	入場者数	部 門 ・ 出 品 数
筑後展	10月10日～10月16日	大牟田文化会館	595人
筑豊展	10月18日～11月6日	嘉麻市立織田廣喜美術館	773人
宗像展	11月8日～11月20日	宗像ユリックス	579人
北九州展	11月30日～12月4日	北九州市立美術館	1,811人
			全7部門 565点

○第78回県展(令和5年度)

会 期	会 場	入場者数	部 門 ・ 出 品 数
筑後展	10月8日～10月14日	大牟田文化会館	497人
筑豊展	10月18日～11月5日	嘉麻市立織田廣喜美術館	646人
宗像展	11月7日～11月19日	宗像ユリックス	569人
北九州展	11月22日～11月26日	北九州市立美術館	1,908人
			全7部門 559点

○第79回県展(令和6年度)

会 期	会 場	入場者数	部 門 ・ 出 品 数
筑後展	10月6日～10月12日	大牟田文化会館	558人
筑豊展	10月16日～11月3日	嘉麻市立織田廣喜美術館	625人
宗像展	11月6日～11月16日	宗像ユリックス	495人
北九州展	11月20日～11月24日	北九州市立美術館	1,925人
			全7部門 551点

主要貸館展の開催状況一覧

(過去10か年)

年度	展 覧 会 名	開 催 会 期	開催日数	入場者数	主 催 者
27	ホジェル・メロ展	27.4.23～27.5.17	22日間	6,204	西日本新聞社
	2015福岡県シニア美術展	27.10.20～27.11.1	12日間	5,528	(公社)福岡県美術協会 福岡県社会福祉協議会
28	2016福岡県シニア美術展	28.10.12～28.10.23	11日間	6,028	(公社)福岡県美術協会 福岡県社会福祉協議会
29	2017福岡県シニア美術展	29.10.11～29.10.22	11日間	5,227	(公社)福岡県美術協会 福岡県社会福祉協議会
30	2018福岡県シニア美術展	30.7.3～30.7.16	13日間	5,203	福岡県 (公社)福岡県美術協会
31 (1)	2019福岡県シニア美術展	1.10.2～1.10.14	12日間	5,115	福岡県 (公社)福岡県美術協会
2	2020福岡県シニア美術展	2.10.3～2.10.11 福岡県立美術館(日・洋・彫・工) 〔 2.10.3～2.10.8 〕 〔 アクロス福岡(書・写・デ) 〕	8日間 〔 6日間 〕	1,502	福岡県 (公社)福岡県美術協会
3	2021福岡県シニア美術展	3.10.12～3.10.24	12日間	2,191	福岡県 (公社)福岡県美術協会
4	2022福岡県シニア美術展	4.10.12～4.10.23	11日間	4,944	福岡県 (公社)福岡県美術協会
5	2023福岡県シニア美術展	5.10.7～5.10.15	8日間	5,714	福岡県 (公社)福岡県美術協会
6	2024福岡県シニア美術展	6.10.5～6.10.14	9日間	2,819	福岡県 (公社)福岡県美術協会 福岡県社会福祉協議会

美術館利用案内

利用案内

●開館時間

展覧会	午前 10 時～午後 6 時（入場は午後 5 時 30 分まで）
ハイビジョン・ギャラリー	午前 9 時～午後 6 時
美術図書室	午前 9 時～午前 12 時、午後 1 時～午後 5 時 30 分
ビデオブース	午前 9 時～午後 5 時 30 分

●休館日

毎週月曜日（月曜日が祝日の場合はその翌平日）
年末年始（12 月 28 日～1 月 4 日）

交通案内

●福岡市地下鉄空港線	天神駅	徒歩 10 分
●西鉄天神大牟田線	西鉄福岡(天神)駅	徒歩 15 分
●西鉄バス	福岡市民会館	徒歩 2 分
	市民会館南口	徒歩 2 分
	天神北	徒歩 5 分
●自動車	福岡都市高速道路〔天神北〕ランプ	3 分
	〃	〔築港〕ランプ 3 分